

(様式第10)

金大病総第66号
平成27年10月5日

東海北陸厚生局長 殿

金沢大学附属病院長 並木 幹夫 印

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏 名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立大学法人金沢大学附属病院

3 所在の場所

〒 920 - 8641 石川県金沢市宝町13番1号	電話(076) 265-2000
-------------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 内分泌・代謝内科 3 リウマ・膠原病内科 4 呼吸器内科 5 循環器内科 6 腎臓内科 7 血液内科 8 総合診療内科 9 神経内科 10 リウマチ科 11 腫瘍内科 12 漢方内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科名等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ (無)
外科と組み合わせた診療科名等	
1 心臓血管外科 2 呼吸器外科 3 胃腸外科 4 肝胆膵・移植外科 5 内分泌・総合外科 6 整形外科 7 脊椎・脊髄外科 8 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 9 脳神経外科 10 腫瘍外科 11 内分泌外科 12 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 13 乳腺外科	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8 産科 9 婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 (13)放射線診断科 (14)放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名等	
1 歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 神経科精神科 2 子どものこころの診療科 3 漢方医学科 4 乳腺科 5 産科婦人科 6 麻酔科蘇生科 7 核医学診療科 8 リハビリテーション科 9 病理診断科 10 がん高度先進治療センター

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46 床	0 床	0 床	0 床	792 床	838 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 6月 1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	376 人	100.3 人	476.3 人	看護補助者	56 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	11 人	4.4 人	15.4 人	理学療法士	12 人	臨床検査技師	55 人
薬 剤 師	50 人	3.8 人	53.8 人	作業療法士	7 人	衛生検査技師	4 人
保 健 師	0 人	0.0 人	0.0 人	視能訓練士	9 人	その他	0 人
助 産 師	19 人	0.0 人	19.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	834 人	7.2 人	841.2 人	臨床工学技士	15 人	医療社会事業従事者	6 人
准看護師	0 人	0.7 人	0.7 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	22 人
歯科衛生士	1 人	0.0 人	1.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	150 人
管理栄養士	9 人	1.5 人	10.5 人	診療放射線技師	37 人	その他の職員	18 人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 (注) 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 (注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 6月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	36 人	眼 科 専 門 医	12 人
外 科 専 門 医	36 人	耳鼻咽喉科専門医	11 人
精 神 科 専 門 医	9 人	放射線科専門医	20 人
小 児 科 専 門 医	16 人	脳神経外科専門医	11 人
皮 膚 科 専 門 医	7 人	整形外科専門医	14 人
泌尿器科専門医	15 人	麻 酔 科 専 門 医	10 人
産婦人科専門医	14 人	救 急 科 専 門 医	7 人
		合 計	218 人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	735.2 人	5.6 人	740.8 人
1日当たり平均外来患者数	1,497.4 人	56.4 人	1,553.8 人
1日当たり平均調剤数			1,376 剤
必 要 医 師 数			166.8 人
必 要 歯 科 医 師 数			3.5 人
必 要 薬 剤 師 数			25 人
必 要 (准) 看 護 師 数			424 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 (注) 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 (注) 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 (注) 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 (注) 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要	
集中治療室	370.2 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	22床
			人工呼吸装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	202 m ² 12台	病床数 16床
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床面積 共用する室名	73 m ²	
化学検査室	559 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、心電図解析用全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13C02分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機
細菌検査室	94 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡
病理検査室	112 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置
病理解剖室	134 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	無影灯、解剖台、計量器
研究室	888 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、セルアライブシステム(CAS)+急速凍結装置、超低温フリーザー、低温恒温装置、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッティングシステム、オートクレーブ、クリーン・ベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト
講義室	267 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室
図書室	146 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室
			収容定員	300人
			蔵書数	1900冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

(注) 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	73.5 %	逆紹介率	47.7 %
算出根拠 A: 紹介患者の数			10,265人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			6,985人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			485人
D: 初診の患者の数			14,630人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 ※H27. 5. 1取り下げ	0 人
自家液体窒素処理骨移植	15 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
化学療法に伴うカフェイン併用療法 悪性骨腫瘍又は悪性軟部腫瘍 ※H26.10.1先進医療より削除	0 人
ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法 原発性ALアミロイドーシス ※H27.2.1先進医療より削除	0 人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	0 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	1 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
 (注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	自家液体窒素処理骨移植	取扱患者数	15 人
当該医療技術の概要			
骨腫瘍に対する手術療法に際し、患者自身の罹患骨を用いて再建する方法。切除骨から腫瘍病巣を取り除いた後、液体窒素で冷却処理し、腫瘍切除後の骨欠損部の再建に用いる。従来用いられてきた熱処理等と比較し、軟骨基質の温存、蛋白・酵素の温存が可能で処理後も骨形成因子の活性が保たれるため骨癒合に有利である。術後の関節機能が温存されるほか、容易に処理を行うことができる。			
医療技術名	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん	取扱患者数	1 人
当該医療技術の概要			
対象症例は、組織学的に浸潤性乳癌と診断された女性（病期 Stage～IIIA及びIIIB）で根治手術及び標準的な術前又は術後化学療法が施行された（対象によっては標準的化学療法の省略を可とする）、エストロゲン受容体陽性かつHER2陰性で、再発リスクが中間以上である患者とする。本試験に登録された症例は、標準的術後ホルモン療法単独、又は標準的術後ホルモン療法とTS-1の併用療法のいずれかに割り付けられ、両群ともに標準的術後ホルモン療法5年間を実施、併用療法群は標準的術後ホルモン療法と同時にTS-1を1年間授与する。TS-1体表面積及びクレアチニンクリアランスによって規定された投与量を朝食後及び夕食後の1日2回、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬する。これを1コースとして、投与開始から1年間、投与を繰り返す。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	80 人	・膿疱性乾癬	5 人
・多発性硬化症	72 人	・広範脊柱管狭窄症	7 人
・重症筋無力症	98 人	・原発性胆汁性肝硬変	112 人
・全身性エリテマトーデス	321 人	・重症急性膵炎	11 人
・スモン	3 人	・特発性大腿骨頭壊死症	80 人
・再生不良性貧血	107 人	・混合性結合組織病	51 人
・サルコイドーシス	135 人	・原発性免疫不全症候群	18 人
・筋萎縮性側索硬化症	47 人	・特発性間質性肺炎	28 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	558 人	・網膜色素変性症	31 人
・特発性血小板減少性紫斑病	85 人	・プリオン病	9 人
・結節性動脈周囲炎	66 人	・肺動脈性肺高血圧症	17 人
・潰瘍性大腸炎	226 人	・神経線維腫症	15 人
・大動脈炎症候群	37 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・ビュルガー病	24 人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	2 人
・天疱瘡	26 人	・慢性血栓性肺高血圧症	8 人
・脊髄小脳変性症	55 人	・ライソゾーム病	5 人
・クローン病	182 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3 人
・悪性関節リウマチ	18 人	・脊髄性筋萎縮症	1 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	164 人	・球脊髄性筋萎縮症	5 人
・アミロイドーシス	19 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	18 人
・後縦靭帯骨化症	118 人	・肥大型心筋症	20 人
・ハンチントン病	3 人	・拘束型心筋症	1 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	34 人	・ミトコンドリア病	5 人
・ウェゲナー肉芽腫症	14 人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	33 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群)	28 人	・黄色靭帯骨化症	13 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6 人	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常 症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異 常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能 低下症)	105 人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ ハイリスク妊娠管理加算
・ 歯科外来診療環境体制加算	・ ハイリスク分娩管理加算
・ 歯科診療特別対応連携加算	・ 退院調整加算
・ 特定機能病院入院基本料（一般病棟）	・ 救急搬送患者地域連携紹介加算
・ 特定機能病院入院基本料（精神病棟）	・ 病棟薬剤業務実施加算
・ 臨床研修病院入院診療加算（医科）	・ データ提出加算
・ 臨床研修病院入院診療加算（歯科）	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 救急医療管理加算	・ 特定集中治療室管理料 4
・ 超急性期脳卒中加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 妊産婦緊急搬送入院加算	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・ 診療録管理体制加算 2	2. 新生児集中治療室管理料
・ 急性期看護補助体制加算	・ 新生児治療回復室入院医療管理料
・ 看護補助加算 2（50対1）	・ 小児入院医療管理料 4
・ 療養環境加算	・
・ 重症者等療養環境特別加算	・
・ 無菌治療室管理加算	・
・ 緩和ケア診療加算	・
・ 精神科応急入院施設管理加算	・
・ 精神病棟入院時医学管理加算	・
・ 精神科身体合併症管理加算	・
・ がん診療連携拠点病院加算	・
・ 栄養サポートチーム加算	・
・ 医療安全対策加算	・
・ 感染防止対策加算（感染防止対策地域連携加算あり）	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・植込型心電図検査
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料1	・人工臓腑
・がん患者指導管理料3	・皮下連続式グルコース測定
・外来緩和ケア管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・院内トリアージ実施料	・ロービジョン検査判断料
・外来リハビリテーション診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携管理料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料2	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・歯科治療総合医療管理料	・外来化学療法加算1
・持続血糖測定器加算	・無菌製剤処理料
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・運動器リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的な中隔心筋焼灼術

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 歯科口腔リハビリテーション料 2	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ 精神科作業療法	・ 植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・ 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・ 医療保護入院等診療料	・ 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術（レーザーシースを用いるもの）
・ エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	・ 両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術
・ 透析液水質確保加算	・ 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・ 一酸化窒素吸入療法	・ 経皮的動脈遮断術
・ CAD/CAM冠	・ ダメージコントロール手術
・ 歯科技工加算	・ 腹腔鏡下肝切除術
・ 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	・ 生体部分肝移植術
・ 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房再建手術）の場合に限る。）	・ 同種死体肝移植術
・ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・ 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・ 腫瘍脊椎骨全摘術	・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ 腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ 羊膜移植術	・ 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・ 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・ 腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
・ 網膜再建術	・ 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ 同種死体腎移植術
・ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）	・ 生体腎移植術
・ 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）	・ 膀胱水圧拡張術
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算 1、乳がんセンチネルリンパ節加算 2	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 経皮的冠動脈形成術	・ 腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・ 経皮的冠動脈ステント留置術	・ 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6（歯科点数表第 2 章第 9 部通則 4 を含む。）に掲げる手術
・ 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	・
・ 輸血管理料 II	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 羊膜移植術	・
・ インプラント義歯	・
・ 腫瘍脊椎骨全摘術	・
・ 超音波骨折治療法	・
・ エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

- (注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1 か月に約 7 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 39 例 / 剖検率 12.1 %

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内分泌器官としての肝臓病学の確立	金子 周一	医学系	7,400,000	補委 日本学術振興会
悪性神経内分泌腫瘍に対する分子生物学的・組織学的特徴に基づいた集学的内照射療法	絹谷 清剛	医学系	3,400,000	補委 日本学術振興会
再生不良性貧血におけるゲノム異常を利用した造血抑制因子の同定	中尾 眞二	医学系	3,200,000	補委 日本学術振興会
高機能自閉症成人例におけるオキシトシンの効果と生物学的背景の検討	三辺 義雄	医学系	100,000	補委 日本学術振興会
アジア系人種における糖尿病性腎症の予後調査と予後規定因子の国際比較研究	和田 隆志	医学系	1,100,000	補委 日本学術振興会
嗜好食品ががん化、老化、発達障害を予防する—メチルキサンテン誘導体を中心として—	杉本 直俊	医学系	800,000	補委 日本学術振興会
単細胞トランスクリプトームによる細胞階層性構造の解明	橋本 真一	医学系	4,800,000	補委 日本学術振興会
統合失調症の病態におけるKv9.3カリウムチャンネルサブユニットの重要性について	橋本 隆紀	医学系	3,900,000	補委 日本学術振興会
糖尿病臓器合併症の個別化医療にむけた抗エリスロポエチン受容体抗体の基礎臨床的検討	和田 隆志	医学系	2,900,000	補委 日本学術振興会
ドラッグリポジショニングによる悪性グリオーマに対する新規化学療法の基盤構築	中田 光俊	医学系	5,200,000	補委 日本学術振興会
蛍光イメージングを用いた悪性骨軟部腫瘍の転移機序の解明と新規治療法の開発	土屋 弘行	医学系	3,900,000	補委 日本学術振興会
AR Axis・微小環境を考慮した前立腺癌進行の機序解明と革新的治療戦略の構築	並木 幹夫	医学系	6,300,000	補委 日本学術振興会
胚由来の胚着床誘導因子(胚シグナル)の同定と臨床応用への試み	藤原 浩	医学系	2,300,000	補委 日本学術振興会
代償性増殖による上咽頭癌発癌機構の解明と治療戦略	吉崎 智一	医学系	4,500,000	補委 日本学術振興会
皮膚免疫疾患におけるB細胞抑制性受容体CD22/72の制御機構	濱口 儒人	医学系	800,000	補委 日本学術振興会
肺癌に対する体外肺切除における、気管支創傷治癒へのキトサンナノ繊維シートの効果	松本 勲	医学系	450,000	補委 日本学術振興会
意識および記憶のモニタリング方法の開発	山本 健	医学系	50,000	補委 日本学術振興会
男性不妊症における精巣 small RNA 制御機構に関する研究	前田 雄司	医学系	700,000	補委 日本学術振興会
ステント摘出デバイスの開発と臨床応用	内山 勝晴	医学系	750,000	補委 日本学術振興会
シミュレータの遠隔操作による小児救急医学教育の効果について	太田 邦雄	医学系	1,300,000	補委 日本学術振興会
心筋症における不整脈関連遺伝子の検索と機能解析および薬物的・非薬物的介入	井野 秀一	医学系	1,300,000	補委 日本学術振興会
地域医療における軽症糖尿病患者に対する在宅健康サービスの継続研究	米田 隆	医学系	1,100,000	補委 日本学術振興会
細胞傷害性T細胞レセプターを用いた肝細胞癌免疫治療に関する基礎的検討	水腰 英四郎	医学系	1,500,000	補委 日本学術振興会
重症筋無力症の骨格筋細胞内反応と病態に関する研究	岩佐 和夫	医学系	1,600,000	補委 日本学術振興会
胃癌腹膜播種における腹腔内マクロファージの機能解析と造腫瘍性についての実験的検討	伏田 幸夫	医学系	1,200,000	補委 日本学術振興会
自然免疫応答の賦活化を基盤とした肺癌新規薬物併用療法の開発	太田 哲生	医学系	900,000	補委 日本学術振興会
浸潤性脳腫瘍が頭頂葉-前頭葉高次機能ネットワーク再構築に及ぼす影響の検討	林 裕	医学系	1,000,000	補委 日本学術振興会

フラボノイドを用いた前立腺癌再燃の予防とドセタキセル感受性増強への応用	溝上 敦	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
水疱性角膜症に対する新しい角膜内皮移植術(DMEK)の確立と、術後視機能の解析	小林 顕	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
血中循環がん細胞解析を利用した小細胞肺癌の新規治療標的・バイオマーカーの同定	木村 英晴	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるcMetによるtopoisomeraseIの活性制御の解析	笠原 寿郎	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来間質細胞群の細胞分画特性解析と肝修復再生療法の開発	酒井 佳夫	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
内皮前駆細胞を流血中で捕捉・内皮化する新規ステントの開発と臨床応用	山岸 正和	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
糖尿病病態形成へパトカイン・セレノプロテインPおよびその受容体の結晶構造解析	菊知 晶裕	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
細胞内蛋白分解系のエネルギー代謝恒常性維持における統合的役割の解明	篁 俊成	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝臓から分泌されるサイトカインの骨粗鬆症への影響	石井 清朗	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
全身型若年性特発性関節炎の発症に関する分子免疫学的解析とその臨床応用	清水 正樹	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症ならびに強皮症モデルマウスにおけるSyk阻害剤の有効性の検討	竹原 和彦	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
肝細胞膜トランスポーターイメージングによる早期肝細胞癌スクリーニング手技の確立	小林 聡	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が硬膜に及ぼす影響 —照射後髄液漏の原因究明—	村上 英樹	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いたショックへの新しい治療戦略	谷口 巧	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌骨転移微小環境におけるCCL2を介した癌細胞増殖・浸潤機構の解明	成本 一隆	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
ヒト乳頭腫ウイルスシグナル伝達に着目した喉頭乳頭腫に対する新規治療の開発	室野 重之	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
近視緑内障の病態解明と診断力アップのためのOCTプログラムの開発	杉山 和久	医学系	2,400,000	補委	日本学術振興会
肝発癌を促進する腸内細菌叢の同定	飯田 宗穂	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症に対するプロバゲルマニウムの実用化を目指した橋渡し研究	原 章規	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
中枢神経障害および神経細胞移植におけるアストロサイト活性化の抑制効果	中川 敬夫	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルス複製を支持する新規肝癌由来培養細胞の樹立	本多 政夫	保健学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
Dual-energy CTの被ばく線量解析および多角的線量最適化手法の構築	松原 孝裕	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
上肢手指の動作解析による巧緻性の新規定量化法の開発	中嶋 理帆	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
特発性正常圧水頭症における新たな揺動MRIメーキング法と解析法の開発	大野 直樹	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
ドメスティック・バイオレンス被害女性の育児における困難感と回復を促す支援	藤田 景子	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
C型慢性肝炎に対するIFN応答・不応答メカニズムの解明	白崎 尚芳	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
発作性夜間血色素尿症(PNH)形質を利用したヒト造血幹細胞動態の解明	片桐 孝和	保健学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1による血栓制御機構が妊娠予後改善にもたらす効果の解明	關谷 暁子	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者における自覚的記憶障害と経年的認知機能低下との関連	柚木 颯憇	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
視神経部分切断モデルにおけるtafluprostの視神経保護効果の検討	長田 敦	医学系	300,000	補委	日本学術振興会

統合失調症におけるKv9.3カリウムチャンネルサブユニット発現変化の脳内分布	橋本 隆紀	医学系	2,500,000	補委	日本学術振興会
我が国と欧米の中絶医療実態の比較研究	打出 喜義	医学系	200,000	補委	日本学術振興会
神経細胞死におけるHsp70とその関連蛋白の意義	三辺 義雄	医学系	100,000	補委	日本学術振興会
新規蛋白尿惹起因子の同定と臨床検査診断法への応用	和田 隆志	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
シグナルパスウェイ構成蛋白の発現・変異解析による造血抑制性サイトカインの同定	中尾 眞二	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
非コードDNA-男性不妊症をひき起こすAlu配列に関連した遺伝子異常を検索する-	並木 幹夫	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
血小板による新しい再上皮化誘導機構とその異常	藤原 浩	医学系	1,150,000	補委	日本学術振興会
オートファジー細胞死誘導による頭頸部癌新規治療法の開発	辻 亮	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
熱中症危険度予測の分子戦略—暑熱順化の分子機構解明とその応用—	杉本 直俊	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の大脳皮質抑制性介在ニューロン変化におけるGABA受容体遺伝子の役割	橋本 隆紀	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
標的タンパク発現プロファイルに基づく新規膠芽腫分類の試み	中田 光俊	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
新規ドラッグデリバリー理論と新世代シスプラチンによる頭頸部癌治療法の開発	吉崎 智一	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
心筋ミオシン軽鎖キナーゼ変異による新しい心筋症発症機序の解明	今野 哲雄	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝幹細胞由来肝癌の画像所見と病理・病態の解析	小坂 一斗	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
移植後閉塞性細気管支炎に対するc-kitの役割	早稲田 優子	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
側坐核機能の個体差による大うつ病発症脆弱性および治療薬反応性の予測	井口 善生	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
正常及び加齢・認知症における ω -3系不飽和脂肪酸の生体内分子イメージングの検討	稲木 杏吏	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
光線力学診断を利用した新しい肺マーキング法の開発および臨床展開	早稲田 龍一	医学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ幹細胞に特異的に発現する分子の探索と治療標的分子としての妥当性評価	玉瀬 玲	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ幹細胞に対するNotch阻害剤の効果解析と前臨床試験	田中 慎吾	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
マクロファージとの相互作用を介した前立腺癌細胞の浸潤・転移促進機序の解明	泉 浩二	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を背景とした肝硬変における形態変化機構の解明	尾崎 公美	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病と臓器連関の病態におけるergothioneine/OCTN1の関与	篠崎 康之	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
機械学習プログラムを用いた健常者の将来の認知機能予測に関する研究	佐村木 美晴	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
食道癌における放射線誘導性EMTと癌幹細胞分化制御に関する基礎的研究	岡本 浩一	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
GSK3 β を分子標的とする神経膠芽腫治療の基礎基盤の構築	宮下 勝吉	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
糖化ストレスが骨折治癒遷延に及ぼす影響の検証と糖尿病における新しい骨折治療の開発	松原 秀憲	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を用いた半月板再生	五嶋 謙一	医学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
男性における尿路性器・咽頭・肛門のHPV感染率についての疫学調査	重原 一慶	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
悪性骨腫瘍に対する液体窒素処理と樹状細胞療法の併用療法	西田 英司	医薬保健学総合研究科	3,600,000	補委	日本学術振興会

骨肉腫に対する新規合成プラチナ錯体にカフェインを併用した化学療法の基礎的研究	山本 憲男	医薬保健学総合研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
多様化する血管内治療デバイスに対応した磁気共鳴画像による塞栓脳動脈瘤破裂徴候検出	植田 文明	医薬保健学総合研究科	400,000	補委	日本学術振興会
ヘパトカインセレノプロテインPIによる“運動療法抵抗性”誘導機構の解明	御簾 博文	医薬保健学総合研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌の分子病理学的バイオマーカーと画像所見の関連に関する研究	松井 修	医薬保健学総合研究科	700,000	補委	日本学術振興会
EGFR遺伝子変異陰性肺癌におけるエルロチニブの効果予測因子の検討	曾根 崇	医薬保健学総合研究科	1,600,000	補委	日本学術振興会
多発性嚢胞腎における血管病変の発症および進展に関与する因子の解明	山田 和徳	医薬保健学総合研究科	1,150,000	補委	日本学術振興会
ANGPTL8機能異常による冠動脈疾患進展の機序解明と制御	野原 淳	医薬保健学総合研究科	1,500,000	補委	日本学術振興会
ヨード担持インプラントの生体内減衰と生体親和性の評価	西田 英司	医薬保健学総合研究科	1,500,000	補委	日本学術振興会
脊椎腫瘍に対する免疫療法を併用した根治的手術(次世代TES)の骨癒合に関する研究	吉岡 克人	医薬保健学総合研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺がんの転移と分子標的薬耐性を克服する統合的研究	矢野 聖二	がん進展制御研究所	2,300,000	補委	日本学術振興会
スキルス胃癌の癌間質増生と癌性腹膜炎発症機構の本態解明	安本 和夫	がん進展制御研究所	1,400,000	補委	日本学術振興会
呼吸器悪性腫瘍の微小環境の特性を標的とした新規制御法の開発	矢野 聖二	がん進展制御研究所	9,400,000	補委	日本学術振興会
肺がん脳転移のMetastasis initiating cell	北 賢二	がん進展制御研究所	800,000	補委	日本学術振興会
蛋白質リン酸化特性の網羅的解析による大腸がんの病態解明と制御への応用	源 利成	がん進展制御研究所	1,400,000	補委	日本学術振興会
エネルギー代謝特性に基づく消化器がん病態解明と制御への応用	堂本 貴寛	がん進展制御研究所	1,100,000	補委	日本学術振興会
EGFR変異肺癌のBIM遺伝子多型に起因するEGFR-TKI耐性克服治療の開発	竹内 伸司	がん進展制御研究所	900,000	補委	日本学術振興会
PI3 KおよびERK/パスウェイを標的としたKRAS変異腫瘍に対する新規治療開発	衣斐 寛倫	がん進展制御研究所	1,500,000	補委	日本学術振興会
オキシトシン療法による自閉症スペクトラム障害者の自己観の変化に関する脳科学研究	棟居 俊夫	子供のこころの発達研究センター	1,400,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害幼児における遺伝子多型、脳内ネットワークと表現型の関係	菊知 充	子供のこころの発達研究センター	2,700,000	補委	日本学術振興会
自閉症障害の神経ネットワーク異常に関する研究:非線形解析による脳形態生理学的検討	高橋 哲也	子供のこころの発達研究センター	600,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害と双極性障害の類似症状に着目した脳科学研究	棟居 俊夫	子供のこころの発達研究センター	300,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害幼児における、知覚入力と「こころ」の形成過程の関係	菊知 充	子供のこころの発達研究センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
カロテノイドの炎症制御機構に着目した高機能型食品創出のための研究開発	太田 嗣人	脳・肝インターフェースメディシン研究センター	6,200,000	補委	日本学術振興会
腎コロボーマ症候群の遺伝子診断法確立と急性腎障害バイオマーカー開発	古市 賢吾	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
副作用マネジメントと毒性回避のための臨床薬物動態研究	崔 吉道	附属病院	609,710	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後リモデリングにおけるタンパク質分解系の役割	薄井 莊一郎	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
腎疾患の腎局所及び全身免疫応答における骨髄由来免疫抑制性細胞の意義	岩田 恭宜	附属病院	950,000	補委	日本学術振興会
EBV関連血球貪食性リンパ組織球症におけるEBV感染T細胞の解析と病態解明	和田 泰三	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
慢性移植片対宿主病の発症に関与する多様な細胞群の同定とその制御法の確立	西村 良成	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
リン酸ジエステル加水分解酵素(PDE)阻害剤は川崎病冠動脈瘤形成を抑制するか?	斉藤 剛克	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会

ステントグラフト内挿術を支援する大動脈フィルターデバイスの開発に関する研究	眞田 順一郎	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
逆流性食道炎に伴う食道発癌における炎症反応制御と発癌抑制効果の関連	尾山 勝信	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
腫瘍脊椎骨全摘術後の骨欠損に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた骨再生	出村 諭	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
テロメア動態と上皮間葉移行機序を応用した血管内浮遊癌細胞に対する治療戦略	北川 育秀	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
癌間質線維芽細胞を標的とした新たな子宮内膜癌治療戦略の開発	水本 泰成	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜癌幹細胞の解析と難治性癌治療法開発への応用	中村 充宏	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来間質細胞による心筋再生医療の作用機序に関する研究	高村 雅之	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
食塩感受性高血圧の成因に関するエピジェネティクス解析	武田 仁勇	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるregulatory B細胞の機能解析および新規治療法の開発	松下 貴史	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
酸化ストレスが精神疾患病態生理に果たす機能的重要性の解明;うつ病の敵か、味方か?	戸田 重誠	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
マイクロ粒子の経動脈的注入における粒子と溶出薬剤の動態とその制御に関する実験的研究	香田 渉	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝動脈化学塞栓術におけるナノミセルを用いた薬剤導入と集積方法に関する研究	南 哲弥	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
食道癌放射線耐性機序解明とHDAC阻害薬による放射線耐性克服の基礎的検討	二宮 致	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
逆流性食道炎による食道発癌過程での炎症性微小環境の解明とその抑制	宮下 知治	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
膝癌放射線治療における線維化ならびに抗癌治療誘発EMT抑制に関する研究	中川原 寿俊	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
難治性良性脳腫瘍に対するアクアポリン1を標的とした血管新生抑制の治療戦略	林 康彦	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌の再燃およびドセタキセル耐性獲得メカニズムにおける微小環境の影響	角野 佳史	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
DICにおける炎症と凝固の相互作用遮断と血管作動性物質	朝倉 英策	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
実験的緑内障濾過手術におけるハニカムフィルムの有用性	奥田 徹彦	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
医学研究に関する各種倫理指針の統合を目指す包括的研究<被験者保護と公益性>	村山 敏典	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
心臓における交感神経刺激受容体に対するカテーテル焼灼の影響	村井 久純	附属病院	2,200,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子検索およびゼブラフィッシュを用いた不整脈重症度評価	林 研至	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
肝硬変微小環境による肝がん幹細胞発生維持制御機構の解明	山下 太郎	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
上皮-間葉連関に着目したLPA1-MRTF-SRFシグナルの腎線維化にはたす意義	坂井 宣彦	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
高速AFM(原子間力顕微鏡)を用いたアルツハイマー病の病因因子Aβ凝集機構の解明	小野 賢二郎	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
食品や化粧品に含まれる蛋白による脳βアミロイドシスの促進に関する研究	濱口 毅	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連疾患の病態の解明と治療法の確立	川野 充弘	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
N-13アンモニアPETと短時間撮影心筋SPECTの統合診断によるリスク層別化	松尾 信郎	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
梗塞後左室リモデリングの病態に関するマルチトレーサ生体分子イメージングの研究	瀧 淳一	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
血管外血小板凝集による乳癌細胞の転移形質獲得の病態解明と新規治療法の開発	井口 雅史	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会

新規MDCT撮像法、MRIによる、膝手術後膝液 瘻発生高リスク群予測に関する研究	北川 裕久	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を応用した骨軟部腫瘍切除後 組織欠損の再生医療と蛍光イメージング評価	林 克洋	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌に対するユビキチン-プロ テアソーム系を標的とした治療戦略の確立	小中 弘之	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
婦人科癌におけるテロメラーゼ活性化機転に基 づく末梢血腫瘍細胞の検出・解析法の確立	高倉 正博	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
咽頭扁桃におけるM細胞の機能解析:反復性 中耳炎発症の内的因子の解明	杉本 寿史	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌の前転移ニッチ構築機構解明と治療 用エクソソーム開発	脇坂 尚宏	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
ラット心筋虚血による梗塞巣へのサイトカイン吸 着カラムを用いた血液浄化療法の効果	岡島 正樹	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移における Invadopodiaのメカニズムの解明	加藤 広禄	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における心筋内微小循環の評 価と臨床応用	坂田 憲治	附属病院	1,750,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症の新規原因遺伝 子の網羅的解析	多田 隼人	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞シートを使ったラット大腿骨骨 欠損再建法の開発	吉田 泰久	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
聴覚中枢発達期におけるプログラム細胞死	波多野 都	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
病態マーカーとしてのin situグルタチオン化タン パク質検出法の確立と応用	戸田 重誠	附属病院	2,500,000	補委	日本学術振興会
目的指向性行動から習慣への安定的移行を制 御する側坐核可塑性の役割	戸田 重誠	附属病院	3,500,000	補委	日本学術振興会
RAGEが水頭症発生に及ぼす影響に関する研 究	喜多 大輔	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
遺伝子マスターレギュレーターSATB1の頭頸部 癌遺伝子発現制御機構	近藤 悟	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
幹細胞ニッチに着目した軟骨膜片移植による長 期形態維持性耳介軟骨再生法の開発	小室 明人	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
細胞競合現象に基づく上咽頭癌発癌機構の解 析と新規治療法の開発	近藤 悟	附属病院	3,100,000	補委	日本学術振興会
BMI変動による薬物動態個人間変動の解明と臨 床応用	澤本 一樹	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
抗microRNA122療法を基軸とした新規抗C型肝炎 ウイルス治療法の開発	島上 哲朗	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌に対する小線源治療併用強度変調放 射線治療における適切な臓器線量制約の確立	熊野 智康	附属病院	100,000	補委	日本学術振興会
肝癌に対する樹状細胞ワクチン療法の開発	北原 征明	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
ゼブラフィッシュを用いた肥大型心筋症の発症、 進展機序の解明	寶達 明彦	附属病院	2,200,000	補委	日本学術振興会
臓器特異的インスリン抵抗性評価系の確立とそ の規定因子の研究	竹下 有美枝	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
経血管インターベンションによる血管透過性の 制御を介する抗腫瘍療法の開発	吉田 耕太郎	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
ヨード担持タン製抗菌インプラントの骨伝導 能・骨誘導能の解析	加藤 仁志	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管正常化に基づく頭頸部癌新規治療戦 略	遠藤 一平	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移における細胞間 接着分子の役割	北原 寛子	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の発症機 構の解明	坂井 健二	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
心不全及び背景疾患が脂肪由来間葉系幹細胞 の再生誘導効率に与える影響についての検討	高島 伸一郎	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会

閉塞性細気管支炎における筋線維芽細胞の役割とその制御機構の解明	高戸 葉月	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
関節炎の発症及び進展における腸内細菌叢の役割の解明	藤井 博	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
Danon病iPS細胞由来心筋・骨格筋細胞の解析と治療薬効果の評価	吉田 昌平	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
Th17細胞をターゲットとした皮膚疾患の治療	岡本 芳伸	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
画像検査を用いたIgG4関連疾患の病態解析および病勢評価法の確立	井上 大	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
β -catenin変異型肝細胞癌のGd-EOB-DTPA造影MRI所見	北尾 梓	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
門脈阻血に伴う多臓器うっ血の周術期における影響と多臓器相関	林 泰寛	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
脳血管保護因子：内在性分泌型RAGEの機能解明と治療への応用	清水 有	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜症からの多段階発癌モデルの作成	保野 由紀子	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
健診コホートをを用いた慢性腎臓病の進展および改善因子の縦断的検討	遠山 直志	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
血液がんの臨床病態とA・B・I抗原発現動態の検証	佐藤 英洋	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
C.difficileの病原性および予後に関する検討	竹森 優喜子	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
深部静脈血栓症急性期における凝血学的マーカーと下肢静脈エコーの有用性に関する研究	寺上 貴子	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
(1-3) β -Dグルカン値の上昇と血液検査項目との関連	中射 知美	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
血液データによる術後早期でのDVT発症予測に関する研究	宮崎 初美	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
センチネルリンパ節シンチグラフィにおけるオフセットエネルギーウィンドウ撮像の検討	米山 寛人	附属病院	300,000	補委	日本学術振興会
移植後閉塞性細気管支炎における筋線維芽細胞の由来とその重要性	渡辺 知志	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
乳腺MRIにおける非侵襲的血流イメージングの開発	高長 雅子	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
C型慢性肝炎治療成績の向上と肝発癌阻止を目指した分子基盤の確立	本多 政夫	保健学系	3,150,000	補委	日本学術振興会
長期的成果からみた聴覚障害幼児の言語聴覚療法に関する研究	能登谷 晶子	保健学系	250,000	補委	日本学術振興会
日本における出産後早期の母乳不足感の評価スケール開発と効果的介入プログラムの検討	島田 啓子	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
廃用性筋萎縮抑制効果の長軸部位別検証による臨床視点的プログラムの構築	山崎 俊明	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
新規糖尿病モデルを用いた骨代謝機構の解析と運動による改善に関する研究	北村 敬一郎	保健学系	1,250,000	補委	日本学術振興会
コレステリルエステル転送蛋白欠損におけるリン脂質代謝異常と抗糖尿病性	稲津 明広	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1と同種造血幹細胞移植後転帰の関連性および新規治療戦略	森下 英理子	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
救急医療のためのポータブルX線機能イメージングシステム(診る聴診器)の開発	田中 利恵	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
MRIによる頭蓋内環境の統合解析	宮地 利明	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
患者目線に立った糖尿病チーム医療を促進する看護師の実践能力育成方法の開発	多崎 恵子	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
振動による重症虚血肢患者の虚血性疼痛緩和と創傷治癒がもたらすQOL向上の検討	大桑 麻由美	保健学系	530,000	補委	日本学術振興会
膠原病患者の運動負荷中の心機能と体力の検討	染矢 富士子	保健学系	2,900,000	補委	日本学術振興会

母指と手指の新しい機能評価法に関する研究	西村 誠次	保健学系	2,750,000	補委	日本学術振興会
廃用性萎縮後の下肢筋に対する筋機能回復のための至適負荷強度および介入時期の検討	田中 正二	保健学系	1,900,000	補委	日本学術振興会
骨盤前傾座位時の坐骨結節部皮膚からの感覚情報は体幹位置の位置情報になる	浅井 仁	保健学系	2,300,000	補委	日本学術振興会
介助動作re-positioningを頸部・腰部の圧迫力から判定する基礎的研究	柴田 克之	保健学系	1,480,000	補委	日本学術振興会
神経再生におけるcellular Factor XIII 活性化機構の解明	杉谷 加代	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
変形画像照合による積算線量分布の有用性を向上させる新たな部分的精度・信頼性の開発	武村 哲浩	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
一体型SPECT/CT装置における心電図同期X線CT撮影の減弱補正法の確立	小野口 昌久	保健学系	2,300,000	補委	日本学術振興会
コンピュータ支援によるX線動態撮像ナビゲーションシステムの開発	真田 茂	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
肥大型心筋症全例登録による発症と予後に関与する要因および治療法解明に関する研究	藤野 陽	保健学系	1,550,000	補委	日本学術振興会
乳児の泣きに対する母親育児支援プログラムの構築	田淵 紀子	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
周産期女性のウェルネスを目指した妊娠早期からのケアシステムの提言	鏡 真美	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究	和田 隆志	医学系	19,800,000	補委	厚生労働省
HBV cccDNAの制御と排除を目指す新規免疫治療薬の開発	金子 周一	医学系	90,770,000	補委	厚生労働省
C型肝炎から発がんに至る病態進展の解明とその制御に関する研究	金子 周一	医学系	32,500,000	補委	厚生労働省
肝硬変に対する脂肪組織由来間質細胞を用いた肝再生両方実用化研究	金子 周一	医学系	25,000,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	医学系	22,385,000	補委	厚生労働省
突発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	医学系	500,000	補委	厚生労働省
B型肝炎の新規治療薬を開発するための宿主の自然免疫系の解析に関する研究	水腰 英四郎	医学系	16,000,000	補委	厚生労働省
大規模ゲノム疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明	山田 正仁	医学系	3,200,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	医学系	500,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	医学系	1,000,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	谷内江 昭宏	医学系	1,250,000	補委	厚生労働省
小児期発症の稀少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	原田 憲一	医学系	150,000	補委	厚生労働省
腹膜播種を伴う胃癌に対するパクリタキセル腹腔内投与併用療法の有用性を評価する第Ⅲ相臨床試験	伏田 幸夫	医学系	300,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	1,000,000	補委	厚生労働省
慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療の為に医療システム構築に関する研究	中村 裕之	医学系	500,000	補委	厚生労働省
重篤小児集約拠点にかかる小児救急医療体制のあり方に関する研究	太田 邦雄	医学系	300,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	竹原 和彦	医学系	500,000	補委	厚生労働省
肝硬変に対する細胞治療法の臨床的確立とそのメカニズムの解明	酒井 佳夫	医学系	1,500,000	補委	厚生労働省
慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	和田 隆志	医学系	1,000,000	補委	厚生労働省

原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	1,000,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	土屋 弘行	医学系	300,000	補委	厚生労働省
突発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	医学系	400,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	医学系	400,000	補委	厚生労働省
C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する抗線維化治療薬の開発に関する研究	原田 憲一	医学系	2,000,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	野原 淳	医薬保健学総合研究科	300,000	補委	厚生労働省
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺がんのEGFRチロシンキナーゼ阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究	矢野聖二	がん進展制御研究所	39,200,000	補委	厚生労働省
C型肝炎ウイルス感染特異的な長鎖ノンコーディングRNAの探索	島上 哲朗	附属病院	8,000,000	補委	厚生労働省
肝炎に関する全国規模のデータベースを用いた肝炎治療の評価及び肝炎医療の水準の向上に資する研究	島上 哲朗	附属病院	2,000,000	補委	厚生労働省
急性感染も含めた肝炎ウイルス感染状況・長期経過と治療導入対策に関する研究	島上 哲朗	附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	川野 充弘	附属病院	1,300,000	補委	厚生労働省
遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診察ガイドライン等の作成に関する研究	林 研至	附属病院	700,000	補委	厚生労働省
特異性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	加畑 多文	附属病院	120,000	補委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	附属病院	600,000	補委	厚生労働省
造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症(VOD)に対する本邦未承認薬defibrotideの国内導入のための研究:第I相および第II相試験(医師主導治験)	吉村 健一	附属病院	300,000	補委	厚生労働省
難治性神経芽腫に対するIL2,CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	吉村 健一	附属病院	600,000	補委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	1,000,000	補委	厚生労働省
C型肝炎の新規診断法や新規治療法を開発するためのゲノムワイド関連解析の手法を用いた宿主因子の解析に関する研究	本多 政夫	保健学系	1,200,000	補委	厚生労働省

計 587,294,710

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Hiroaki Takayama, Hirofumi Misu, a Hisakazu Iwama, Keita Chikamoto, Yoshiro Saito, Koji Murao, Atsushi Teraguchi, Fei Lan, Akihiro Kikuchi, Reina Saito, Natsumi Tajima, Takayoshi Shirasaki, Seiichi Matsugo, Ken-ichi Miyamoto, Shuichi Kaneko, and Toshinari Takamura	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Metformin Suppresses Expression of the Selenoprotein P Gene via an AMP-activated Kinase (AMPK)/FoxO3a Pathway in H4IIEC3 Hepatocytes.	THE JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY 289 (1):335-345, 2014
2	Iwata Y, Furuichi K, Hashimoto S, Yokota K, Yasuda H, Sakai N, Kitajima S, Toyama T, Shinozaki Y, Sagara A, Matsushima K, Kaneko S, Wada T	Division of Infection Control, Kanazawa University; Division of Nephrology, Kanazawa University	Pro-inflammatory/Th1 gene expression shift in high glucose stimulated mesangial cells and tubular epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun 443 (3):969-74, 2014
3	Komura T, Taniguchi T, Sakai Y, Yamashita T, Mizukoshi E, Noda T, Okajima M, Kaneko S	Intensive Care Unit, Kanazawa University Hospital; Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University	The efficacy of Continuous Plasma Diafiltration Therapy in critical Patients with Acute Liver Failure.	Journal of Gastroenterology and Hepatology 29 (4):782-786, 2014
4	Honda M, Shirasaki T, Shimakami T, Sakai A, Horii R, Arai K, Yamashita T, Sakai Y, Yamashita T, Okada H, Murai K, Nakamura M, Mizukoshi E, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Graduate School of Medicine; Department of Advanced Medical Technology, Kanazawa University Graduate School of Health Medicine	Hepatic interferon-stimulated genes are differentially regulated in the liver of chronic hepatitis C patients with different interleukin 28B genotypes.	Hepatology 59 (3):828-38, 2014
5	Takeshita Y, Takamura T, Honda M, Kita Y, Zen Y, Kato KI, Misu H, Ota T, Nakamura M, Yamada K, Sunagozaka H, Arai K, Yamashita T, Mizukoshi E, Kaneko S	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	The effects of ezetimibe on non-alcoholic fatty liver disease and glucose metabolism: a randomised controlled trial.	Diabetologia 57 (5):878-890, 2014
6	Nakagawa H, Mizukoshi E, Iida N, Terashima T, Kitahara M, Marukawa Y, Kitamura K, Nakamoto Y, Hiroishi K, Imawari M, Kaneko S	Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	In vivo immunological antitumor effect of OK-432-stimulated dendritic cell transfer after radiofrequency ablation.	Cancer Immunol Immunother 63 (4):347-356, 2014
7	Lan F, Misu H, Chikamoto K, Takayama Hm, Kikuchi A, Mohri K, Takata N, Hayashi H, Matsuzawa-Nagata N, Takeshita Y, Noda H, Matsumoto Y, Ota T, Nagano T, Nakagen M, Miyamoto KI, Takatsuki K, Seo T, Iwayama K, Tokuyama K, Matsugo S, Tang H, Saito Y, Yamagoe S, Kaneko S, Takamura T	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	LECT2 Functions as a Hepatokine That Links Obesity to Skeletal Muscle Insulin Resistance.	Diabetes 63 (5):1649-64, 2014
8	Zeng SS, Yamashita T, Kondo M, Nio K, Hayashi T, Hara Y, Nomura Y, Yoshida M, Hayashi T, Oishi N, Ikeda H, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	The transcription factor SALL4 regulates stemness of EpCAM-positive hepatocellular carcinoma.	J Hepatol 60 (1):127-134, 2014
9	Katsunori Kitano, Soichiro Usui, Hiroshi Ootsuji, Shinichiro Takashima, Daisuke Kobayashi, Hisayoshi Murai, Hiroshi Furusho, Ayano Nomura, Shuichi Kaneko, Masayuki Takamura	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Rho-kinase activation in leukocytes plays a pivotal role in myocardial ischemia/reperfusion injury.	PLOS ONE 9 (3):e92170, 2014
10	Terashima T, Yamashita T, Arai K, Sunagozaka H, Kitahara M, Nakagawa H, Kagaya T, Mizukoshi E, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	Feasibility and efficacy of hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma after sorafenib.	Hepatol Res :2014
11	Shimizu M, Furuichi K, Yokoyama H, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Kaneko S, Wada T	Division of Nephrology, Kanazawa University Hospital	Kidney lesions in diabetic patients with normoalbuminuric renal insufficiency.	Clin Exp Nephrol 18 (2):305-12, 2014

12	Takamura T	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Remodeling of nutrient homeostasis by unfolded protein response.	Diabetes 63(3):841-843, 2014
13	Teruyuki Ueda, Masao Honda, Katsuhisa Horimoto, Sachiyo Aburatani, Shigeru Saito, Taro Yamashita, Yoshio Sakai, Mikiko Nakamura, Hajime Takatori, Hajime Sunagozaka, Shuichi Kaneko	Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Gene expression profiling of hepatitis B- and hepatitis C-related hepatocellular carcinoma using graphical Gaussian modeling.	Genomics 101(4):238-248, 2014
14	Nakagawa H, Mizukoshi E, Iida N, Terashima T, Kitahara M, Marukawa Y, Kitamura K, Nakamoto Y, Hiroishi K, Imawari M, Kaneko S	Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	In vivo immunological antitumor effect of OK-432-stimulated dendritic cell transfer after radiofrequency ablation.	Cancer Immunol Immunother 63(4):347-356, 2014
15	Kazuhide Ishikura, Hirofumi Misu, Masafumi Kumazaki, Hiroaki Takayama, Naoto Matsuzawa-Nagata, Natsumi Tajima, Keita Chikamoto, Fei Lan, Hitoshi Ando, Tsuguhito Ota, Masaru Sakurai, Yumie Takeshita, Kenichiro Kato, Akio Fujimura, Ken-ichi Miyamoto, Yoshiro Saito, Satomi Kameo, Yasuo Okamoto, Yoh Takuwa, Kazuhiko Takahashi, Hiroyasu Kidoya, Nobuyuki Takakura, Shuichi Kaneko, Toshinari Takamura	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Selenoprotein P as a diabetes-associated hepatokine that impairs angiogenesis by inducing VEGF resistance in vascular endothelial cells.	Diabetologia 57(9):1968-1976, 2014
16	Kitahara M, Mizukoshi E, Nakamoto Y, Mukaida N, Matsushima K, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Efficient generation of highly immunocompetent dendritic cells from peripheral blood of patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	International Immunopharmacology 21(2):346-353, 2014
17	Nakagawa H, Mizukoshi E, Iida N, Terashima T, Kitahara M, Marukawa Y, Kitamura K, Nakamoto Y, Hiroishi K, Imawari M, Kaneko S	Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	In vivo immunological antitumor effect of OK-432-stimulated dendritic cell transfer after radiofrequency ablation.	Cancer Immunol Immunother 63(4):347-356, 2014
18	Terashima T, Yamashita T, Arai K, Sunagozaka H, Kitahara M, Nakagawa H, Kagaya T, Mizukoshi E, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	Feasibility and efficacy of hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma after sorafenib.	Hepato Res 44(12):1179-1185, 2014
19	Terashima T, Yamashita T, Iida N, Yamashita T, Nakagawa H, Arai K, Kitamura K, Kagaya T, Sakai Y, Mizukoshi E, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	Blood neutrophil to lymphocyte ratio as a predictor in patients with advanced hepatocellular carcinoma treated with hepatic arterial infusion chemotherapy.	Hepato Res doi: 10.1111/hepr.12436 2014
20	Takamura H, Nakanuma S, Hayashi H, Tajima H, Kakinoki K, Kitahara M, Sakai S, Makino I, Nakagawara H, Miyashita T, Okamoto K, Nakamura K, Oyama K, Inokuchi M, Ninomiya I, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Onishi I, Kayahara M, Tani T, Arai K, Yamashita T, Yamashita T, Kitamura H, Ikeda H, Kaneko S, Nakanuma Y, Matsui O, Ohta T	Department of Gastroenterologic Surgery, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Severe veno-occlusive disease/sinusoidal obstruction syndrome after deceased-donor and living-donor liver transplantation.	Transplant Proc 46(10):3523-3535, 2014
21	Yamada K, Mizukoshi E, Sunagozaka H, Arai K, Yamashita T, Takeshita Y, Misu H, Takamura T, Kitamura S, Zen Y, Nakanuma Y, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Characteristics of hepatic fatty acid compositions in patients with nonalcoholic steatohepatitis.	Liver Int 35(2):58-590, 2014
22	Terashima T, Mizukoshi E, Arai K, Yamashita T, Yoshida M, Ota H, Onishi I, Kayahara M, Ohtsubo K, Kagaya T, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	P53, hTERT, WT-1, and VEGFR2 are the most suitable targets for cancer vaccine therapy in HLA-A24 positive pancreatic adenocarcinoma.	Cancer Immunol Immunother 63(5):479-489, 2014

23	Honda M, Shirasaki T, Shimakami T, Sakai A, Horii R, Arai K, Yamashita T, Sakai Y, Yamashita T, Okada H, Murai K, Nakamura M, Mizukoshi E, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Graduate School of Medicine; Department of Advanced Medical Technology, Kanazawa University Graduate School of Health Medicine	Hepatic interferon-stimulated genes are differentially regulated in the liver of chronic hepatitis C patients with different interleukin-28B genotypes.	Hepatology 59 (3):828-838, 2014
24	Iwata Y, Furuichi K, Hashimoto S, Yokota K, Yasuda H, Sakai N, Kitajima S, Toyama T, Shinozaki Y, Sagara A, Matsushima K, Kaneko S, Wada T	Division of Infection Control, Kanazawa University; Division of Nephrology, Kanazawa University	Pro-inflammatory/Th1 gene expression shift in high glucose stimulated mesangial cells and tubular epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun 443 (3):969-974, 2014
25	Nakade Y, Toyama T, Furuichi K, Kitajima S, Ohkura N, Sagara A, Shinozaki Y, Hara A, Kitagawa K, Shimizu M, Iwata Y, Oe H, Nagahara M, Horita H, Sakai Y, Kaneko S, Wada T	Clinical Laboratory, Kanazawa University Hospital	Impact of kidney function and urinary protein excretion on pulmonary function in Japanese patients with chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol 18 (5):763-769, 2014
26	Wada T, Haneda M, Furuichi K, Babazono T, Yokoyama H, Iseki K, Araki S, Ninomiya T, Hara S, Suzuki Y, Iwano M, Kusano E, Moriya T, Satoh H, Nakamura H, Shimizu M, Toyama T, Hara A, Makino H, Research Group of Diabetic Nephropathy, Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	Division of Nephrology, Kanazawa University Hospital	Clinical impact of albuminuria and glomerular filtration rate on renal and cardiovascular events, and all-cause mortality in Japanese patients with type 2 diabetes.	Clin Exp Nephrol 18 (4):613-620, 2014
27	Inomata J, Murai H, Kaneko S, Hamaoka T, Ikeda T, Kobayashi D, Usui S, Furusho H, Sugiyama Y, Takata S, Takamura M	Department of Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Differential effects of azelnidipine and amlodipine on sympathetic nerve activity in patients with primary hypertension.	J Hypertens 32 (9):1898-1904, 2014
28	Kitano K, Usui S, Otsuji H, Takashima S, Kobayashi D, Murai H, Furusho H, Nomura A, Kaneko S, Takamura M	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Rho-kinase activation in leukocytes plays a pivotal role in myocardial ischemia/reperfusion injury.	PLoS One 9 (3):e92242, 2014
29	Shirasaki T, Honda M, Shimakami T, Murai K, Shiimoto T, Okada H, Takabatake R, Tokumaru A, Sakai Y, Yamashita T, Lemon SM, Murakami S, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Graduate School of Medicine; Department of Advanced Medical Technology, Kanazawa University Graduate School of Health Medicine	Impaired IFN signaling in chronic hepatitis C patients with advanced fibrosis via the TGF-beta signaling pathway.	Hepatology 60 (5):1519-1530, 2014
30	Yamashita T, Kitao A, Matsui O, Hayashi T, Nio K, Kondo M, Ohno N, Miyati T, Okada H, Yamashita T, Mizukoshi E, Honda M, Nakanuma Y, Takamura H, Ohta T, Nakamoto Y, Yamamoto M, Takayama T, Arai S, Wang X, Kaneko S	Department of General Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medical Science; Department of Gastroenterology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Gd-EOB-DTPA-enhanced magnetic resonance imaging and alpha-fetoprotein predict prognosis of early-stage hepatocellular carcinoma.	Hepatology 60 (5):1674-1685, 2014
31	Shimakami T, Honda M, Shirasaki T, Takabatake R, Liu F, Murai K, Shiimoto T, Funaki M, Yamane D, Murakami S, Lemon SM, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	The acyclic retinoid Peretinoin inhibits hepatitis C virus replication and infectious virus release in vitro.	Scientific Reports 2014 Apr 15;4:4688.doi : 10.1038/srep04688, 2014
32	Takeshita Y, Takamura T, Kita Y, Otsuda T, Kato K, Wakakuri H, Yamada M, Misu H, Matsushima Y, Kaneko S, Establishment of Rationale for Antiaging Diabetic Medicine (ERA-DM) Study Chapter 2 Group	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences Kanazawa	Vildagliptin vs liraglutide as a second-line therapy switched from sitagliptin-based regimens in patients with type 2 diabetes: A randomized, parallel-group study.	J Diabetes Investig 6 (2):192-200, 2015
33	Kato K, Takeshita Y, Misu H, Zen Y, Kaneko S, Takamura T	Department of Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences Kanazawa	Liver steatosis is associated with insulin resistance in skeletal muscle rather than in the liver in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease.	J Diabetes Investig 6 (2):158-163, 2015

34	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A, Saito R, Tanaka Y, Nomura A, Konno T, Sakata K, Fujino N, Takamura T, Inazu A, Mabuchi H, Yamagishi M, Hayashi K	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University, Graduate School of Medicine	Whole exome sequencing combined with integrated variant annotation prediction identifies asymptomatic Tangier disease with compound heterozygous mutations in ABCA1 gene.	Atherosclerosis 240 (2):324-329, 2015
35	Hara Y, Yamashita T, Oishi N, Nio K, Hayashi T, Nomura Y, Yoshida M, Hayashi T, Hashiba T, Asahina Y, Kondo M, Okada H, Sunagozaka H, Honda M, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	TSU-68 ameliorates hepatocellular carcinoma growth by inhibiting microenvironmental platelet-derived growth factor signaling.	Anticancer Res 35 (3):1423-1431, 2015
36	Murai H, Okuyama Y, Sakata Y, Kaneko S, Hamaoka T, Okabe Y, Usui S, Furusho H, Takamura M	Department of Disease Control and Homeostasis, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Different responses of arterial blood pressure to electrical stimulation of the renal artery in patients with resistant hypertension.	Int J Cardiol 190 (4):296-298, 2015
37	Toyama T, Shimizu M, Furuichi K, Kaneko S, Wada T	Division of Nephrology, Kanazawa University Hospital	Treatment and impact of dyslipidemia in diabetic nephropathy.	Clin Exp Nephrol 18 (2):201-205, 2014
38	Oishi N, Yamashita T, Kaneko S	Department of Gastroenterology, Kanazawa University Hospital	Molecular biology of liver cancer stem cells.	Liver Cancer 3 (2):71-84, 2014
39	Norihiko Sakai, Takashi Wada	Division of Blood Purification, Kanazawa University Hospital	Revisiting inflammation in diabetic nephropathy: the role of the Nlrp3 inflammasome in glomerular resident cells.	Kidney Int 87 (1):12-14, 2015
40	Fujino N, Konno T, Yamagishi M, Hayashi K.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University, Graduate School of Medical Science	Left ventricular apical aneurysm and systolic dysfunction in hypertrophic cardiomyopathy.	J Cardiol. 64(4): 253-255, 2014
41	Hodatsu A, Konno T, Hayashi K, Funada A, Fujita T, Nagata Y, Fujino N, Kawashiri MA, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Compound heterozygosity deteriorates phenotypes of hypertrophic cardiomyopathy with founder MYBPC3 mutation: evidence from patients and zebrafish models	Am J Physiol Heart Circ Physiol.307(11):H1594-1604,2014
42	Kawashiri M, Hayashi K, Konno T, Fujino N, Ino H, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Current perspectives in genetic cardiovascular disorders: from basic to clinical aspects.	Heart Vessels. 29(2):129-141,2014
43	Kawashiri M, Ishibashi-Ueda H, Funada A, Yoshimuta T, Konno T, Hayashi K, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Erdheim-Chester disease involving the brain and the heart.	J Am Coll Cardiol. 63(11):1121,2014
44	Kawashiri M, Nomura A, Konno T, Hayashi K.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Can next-generation sequencing replace sanger sequencing for screening genetic variants?	Circ J. 78(12):2845-7,2014
45	Kawashiri M, Sakata K, Uchiyama K, Konno T, Namura M, Mizuno S, Tatami R, Kanaya H, Nitta Y, Michishita I, Hirase H, Ueda K, Aoyama T, Okeie K, Haraki T, Mori K, Araki T, Minamoto M, Oiwake H, Ino H, Hayashi K, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Impact of lesion morphology and associated procedures for left main coronary stenting on angiographic outcome after intervention: sub-analysis of Heart Research Group of Kanazawa, HERZ, Study.	Cardiovasc Interv Ther. 29(2):117-122,2014
46	Konno T, Hayashi K, Fujino N, Nagata Y, Hodatsu A, Masuta E, Sakata K, Nakamura H, Kawashiri MA, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine; Research and Education Center for Innovative and Preventive Medicine, Kanazawa University	High sensitivity of late gadolinium enhancement for predicting microscopic myocardial scarring in biopsied specimens in hypertrophic cardiomyopathy.	PLoS One.9(7):e101465,2014
47	Nakahashi T, Arita T, Yamaji K, Inoue K, Yokota T, Hoshii Y, Fukunaga M, Nomura A, Watanabe H, Miura S, Isotani A, Soga Y, Ando K, Iwabuchi M, Yokoi H, Nosaka H, Yamagishi M, Nobuyoshi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Impact of clinical and echocardiographic characteristics on occurrence of cardiac events in cardiac amyloidosis as proven by endomyocardial biopsy	Int J Cardiol.176(3):753-9,2014
48	Tada H, Nohara A, Kawashiri MA, Inazu A, Mabuchi H, Yamagishi M	Division of Cardiovascular Medicine Kanazawa University Graduate School of Medicine	Marked Transient Hypercholesterolemia Caused by Low-dose Mitotane as Adjuvant Chemotherapy for Adrenocortical Carcinoma	J Atheroscler Thromb 21:1326-1329,2014
49	Tanaka T, Sakata K, Kawashiri MA, Nakanishi C, Konno T, Yoshimuta T, Hayashi K, Tomita S, Watanabe G, Yamagishi M.	Division of Cardiovascular Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Impact of Fluoroscopically-Visible Fluttering Flap on Clinical Diagnosis of Acute Aortic Dissection	J Am Coll Cardiol. 63(14):e31,2014

50	Mabuchi H, Nohara A, Noguchi T, Kobayashi J, Kawashiri MA, Inoue T, Mori M, Tada H, Nakanishi C, Yagi K, Yamagishi M, Ueda K, Takegoshi T, Miyamoto S, Inazu A, Koizumi J; Hokuriku FH Study Group.	Department of Lipidology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Genotypic and phenotypic features in homozygous familial hypercholesterolemia caused by proprotein convertase subtilisin/kexin type 9 (PCSK9) gain-of-function mutation.	Atherosclerosis. 236(1):54-61,2014
51	Nohara A, Kobayashi J, Kawashiri MA, Tada H, Inazu A, Jiang M, Mabuchi H, Bujo H.	Department of Lipidology, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Clinical significance of measuring soluble LR11, a circulating marker of atherosclerosis and HbA1c in familial hypercholesterolemia.	Clin Biochem. 47(13-14):1326-8, 2014
52	Mabuchi H, Nohara A, Inazu A.	Department of Lipidology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Cholesteryl ester transfer protein (CETP) deficiency and CETP inhibitors.	Mol Cells. 37(11):777-84, 2014
53	Hamano R, Baba T, Sasaki S, Tomaru U, Ishizu A, Kawano M, Yamagishi M, Mukaida N.	Division of Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kanazawa University Hospital	Ag and IL-2 immune complexes efficiently expand Ag-specific Treg cells that migrate in response to chemokines and reduce localized immune responses.	Eur J Immunol. 44(4):1005-15 2014
54	Hara S1, Kawano M, Mizushima I, Yamada K, Fujita K, Harada K, Matsumura M, Yamagishi M, Sato Y, Yamaguchi Y, Nakanuma Y, Nagata M.	Division of Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medicine	A condition closely mimicking IgG4-related disease despite the absence of serum IgG4 elevation and IgG4-positive plasma cell infiltration.	Mod Rheumatol. 2:1-6 2014
55	Hara S, Umeyama K, Yokoo T, Nagashima H, Nagata M	Department of Kidney and Vascular Pathology, University of Tsukuba; Division of Rheumatology, Department of Internal Medicine, Kanazawa University of Graduate School of Medicine	Diffuse glomerular nodular lesions in diabetic pigs carrying a dominant-negative mutant hepatocyte nuclear 1-alpha, an inheritant diabetic gene in humans.	PLoS One. 9(3):e92219 2014
56	Teramoto T, Sasaki J, Ishibashi S, Birou S, Daida H, Dohi S, Egusa G, Hiro T, Hirobe K, Iida M, Kihara S, Kinoshita M, Maruyama C, Ohta T, Okamura T, Yamashita S, Yokode M, Yokote K, Harada-Shiba M, Arai H, Bujo H, Nohara A, Ohta T, Oikawa S, Okada T, Wakatsuki A.	Committee for Epidemiology and Clinical Management of Atherosclerosis, Japan Atherosclerosis Society.	Familial hypercholesterolemia.	J Atheroscler Thromb. 21(1):6-10 2014
57	Kimura H, Ohira T, Uchida O, Matsubayashi J, Shimizu S, Nagao T, Ikeda N, Nishio K	Department of Genome Biology, Kinki University Faculty of Medicine	Analytical performance of the cobas EGFR mutation assay for Japanese non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer 83(3):329-333
58	Takamatsu H, Honda S, Miyamoto T, Yokoyama K, Hagiwara S, Ito T, Tomita N, Iida S, Iwasaki T, Sakamaki H, Suzuki R, Sunami K	Cellular Transplantation Biology (Hematology/Respirology), Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	Changing trends in prognostic factors for patients with multiple myeloma after autologous stem cell transplantation during the immunomodulator drug/proteasome inhibitor era.	Cancer Sci 106(2):179-185
59	Hayashi T, Nakagawa N, Kadohira Y, Morishita E, Asakura H.	Kanazawa University School of Medicine	Rivaroxaban in a patient with disseminated intravascular coagulation associated with an aortic aneurysm: a case report.	Ann Intern Med. 2014 Jul 15;161(2):158-9.
60	Arahata M, Shimizu Y, Asakura H, Nakao S.	Kanazawa University School of Medicine	Persistent molecular remission of refractory acute myeloid leukemia with inv(16)(p13.1q22) in an elderly patient induced by cytarabine ocfosfate hydrate.	J Hematol Oncol. 2015 Feb 6;8(1):5.
61	Hosokawa K, Yamazaki H, Nakamura T, Yoroidaka T, Imi T, Shima Y, Ohata K, Takamatsu H, Kotani T, Kondo Y, Takami A, Nakao S.	Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Successful hyperbaric oxygen therapy for refractory BK virus-associated hemorrhagic cystitis after cord blood transplantation	Transpl Infect Dis. 2014 Oct;16(5):843-6.
62	Hosokawa K, Takami A, Tsuji M, Araoka H, Ishiwata K, Takagi S, Yamamoto H, Asano-Mori Y, Matsuno N, Uchida N, Masuoka K, Wake A, Makino S, Yoneyama A, Nakao S, Taniguchi S.	Department of Hematology, Toranomon Hospital; Cellular Transplantation Biology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Relative incidences and outcomes of Clostridium difficile infection following transplantation of unrelated cord blood, unrelated bone marrow, and related peripheral blood in adult patients: a single institute study.	Transpl Infect Dis. 2014 Jun;16(3):412-20
63	Mochizuki K, Kondo Y, Hosokawa K, Ohata K, Yamazaki H, Takami A, Sasaki M, Sato Y, Nakanuma Y, Nakao S.	Department of Cellular Transplantation Biology, Division of Cancer Medicine, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Adenovirus pneumonia presenting with nodular shadows on chest X-ray in two unrelated allogeneic bone marrow transplant recipients.	Intern Med. 2014;53(5):499-503

64	Ono K	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Exogenous amyloidogenic proteins function as seeds in amyloid beta-protein aggregation.	Biochim Biophys Acta. 2014 Apr;1842(4):646–53.
65	Shinohara M	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Consumption of green tea, but not black tea or coffee, is associated with reduced risk of cognitive decline.	PLoS One. 2014 May 14;9(5):e96013.
66	Iwasa K	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Increased skeletal muscle expression of the endoplasmic reticulum chaperone GRP78 in patients with myasthenia gravis.	J Neuroimmunol. 2014 Aug 15;273(1–2):72–6.
67	Nakamura K	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Agraphia of Kanji (Chinese characters): an early symptom of sporadic Creutzfeldt–Jakob disease in a Japanese patient: a case report.	J Med Case Rep. 2014 Aug 6;8:269.
68	Iwasa K	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Retinitis pigmentosa and macular degeneration in a patient with ataxia with isolated vitamin E deficiency with a novel c.717 del C mutation in the TTPA gene.	J Neurol Sci. 2014 Oct 15;345(1–2):228–30.
69	Takahashi R	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Efficacy of diflunisal on autonomic dysfunction of late-onset familial amyloid polyneuropathy (TTR Val30Met) in a Japanese endemic area.	J Neurol Sci. 2014 Oct 15;345(1–2):231–5.
70	Akagi A	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Neurolymphomatosis exhibiting repeated exacerbation and remission in both the peripheral and central nervous systems.	J Neurol Sci. 2014 Oct 15;345(1–2):267–8.
71	Komatsu J	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Creutzfeldt–Jakob disease associated with a V203I homozygous mutation in the prion protein gene.	Prion. 2014;8(5):336–8.
72	Yoshita M	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Diagnostic accuracy of 123I-meta-iodobenzylguanidine myocardial scintigraphy in dementia with Lewy bodies: a multicenter study.	PLoS One. 2015 Mar 20;10(3):e0120540.
73	Yamada M	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	The spectrum of cerebral amyloid angiopathy-related disorders.	Intern Med. 2014;53(17):1893–4.
74	Yamada M	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Cerebral amyloid angiopathy: emerging concepts.	J Stroke. 2015 Jan;17(1):17–30.
75	Georgiev D, Arion D, Enwright JF, Kikuchi M, Minabe Y, Corradi JP, Lewis DA, Hashimoto T	Department of Psychiatry and Neurobiology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Lower gene expression for KCNS3 potassium channel subunit in parvalbumin-containing neurons in the prefrontal cortex of subjects with schizophrenia.	Am J Psychiatry 171:62–71(2014)
76	Iguchi Y, Fukumoto K, Sawa K, Ishii K	Department of Psychiatry & Neurobiology, School of Medicine, Kanazawa University	Effects of extended context discrimination training and context extinction on transfer of context dependency of conditioned flavor aversion.	Behavioural Processes 103:218–227(2014)
77	Remijn GB, Kikuchi M, Shitamichi K, Ueno S, Yoshimura Y, Nagao K, Tsubokawa T, Kojima H, Higashida H, Minabe Y	Department of Psychiatry and Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Somatosensory evoked field in response to visuotactile stimulation in 3- to 4-year-old children.	Front Hum Neurosci 8:170(2014)
78	Yoshimura Y, Kikuchi M, Ueno S, Shitamichi K, Remijn GB, Hiraishi H, Hasegawa C, Furutani N, Oi M, Munosue T, Tsubokawa T, Higashida H, Minabe Y	Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University	A longitudinal study of auditory evoked field and language development in young children.	Neuroimage 101C:440–447(2014)
79	Hirosawa T, Kikuchi M, Okumura E, Yoshimura Y, Hiraishi H, Munosue T, Takesaki N, Furutani N, Ono Y, Higashida H, Minabe Y.	Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University	Attentional control and interpretation of facial expression after oxytocin administration to typically developed male adults.	PLoS One. 2015 Feb 6;10(2):e0116918.

80	Hiraishi H, Kikuchi M, Yoshimura Y, Kitagawa S, Hasegawa C, Munosue T, Takesaki N, Ono Y, Takahashi T, Suzuki M, Higashida H, Asada M, Minabe Y.	Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University	Unusual developmental pattern of brain lateralization in young boys with autism spectrum disorder: Power analysis with child-sized magnetoencephalography.	Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Mar;69(3):153-60. Epub 2015 Jan 12.
81	Hasegawa C, Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Munosue T, Nakatani H, Higashida H, Asada M, Oi M, Minabe Y.	Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University	Broader autism phenotype in mothers predicts social responsiveness in young children with autism spectrum disorders.	Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Mar Epub 2014 Jul 14.
82	Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Munosue T, Hashimoto T, Tsubokawa T, Takahashi T, Suzuki M, Higashida H, Minabe Y.	Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University	Reduced long-range functional connectivity in young children with autism spectrum disorder.	Soc Cogn Affect Neurosci. 2015 Feb;10(2):248-54. Epub 2014 Mar 20.
83	Wada T, Itoh M, Maeba H, Toma T, Niida Y, Saikawa Y, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Intermittent X-linked thrombocytopenia with a novel WAS gene mutation.	Pediatr Blood Cancer. 61(4):746-8, 2014
84	Shimizu M, Ishikawa S, Yachi Y, Muraoka M, Tasaki Y, Iwasaki H, Kuroda M, Ohta K, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Tolvaptan therapy for massive edema in a patient with nephrotic syndrome.	Pediatr Nephrol. 29(5):915-7, 2014
85	Shimizu M, Ueno K, Ishikawa S, Kasahara Y, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Role of activated macrophage and inflammatory cytokines in the development of calcinosis in juvenile dermatomyositis.	Rheumatology (Oxford). 53(4):766-7, 2014
86	Wada T, Toma T, Hamaguchi Y, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Increased expression of epidermal thymic stromal lymphopoietin in inflammatory peeling skin syndrome.	J Dermatol. 41(5):448-9, 2014
87	Wada T, Yasumi T, Toma T, Hori M, Maeda S, Umeda K, Heike T, Adachi S, Usami I, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Munc13-4 deficiency with CD5 downregulation on activated CD8+ T cells.	Pediatr Int. 56(4):605-8, 2014
88	Shimizu M, Sakai S, Tatekawa Y, Ishikawa S, Miyamoto M, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	An infant with PELVIS (perineal hemangioma, external genital malformations, lipomyelomeningocele, vesicorenal abnormalities, imperforate anus, and skin tag) syndrome misdiagnosed as diaper rash.	J Pediatr.165(3):634, 2014
89	Shimizu M, Ueno K, Ishikawa S, Tokuhisa Y, Inoue N, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Successful multitarget therapy using mizoribine and tacrolimus for refractory Takayasu arteritis.	Rheumatology (Oxford). 53(8):1530-2, 2014
90	Shimizu M, Nakagishi Y, Yoshida A, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Serum interleukin 18 as a diagnostic remission criterion in systemic juvenile idiopathic arthritis.	J Rheumatol. 41(11):2328-30, 2014
91	Shimizu M, Niida Y, Koizumi S, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	An infant with recurrent convulsive seizures of 3 weeks duration: questions.	Pediatr Nephrol. 29(10):1951, 1953-5, 2014
92	Wada T, Toma T, Muraoka M, Matsuda Y, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Elevation of fecal eosinophil-derived neurotoxin in infants with food protein-induced enterocolitis syndrome.	Pediatr Allergy Immunol. 25(6):617-9, 2014
93	Nishimura R, Mase S, Araki R, Fujiki T, Kuroda R, Maeba H, Koizumi S, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Massive hyper-reactive hematopoietic nests in bilateral iliac bones in a patient with mild aplastic anemia.	Pediatr Blood Cancer. 61(10):1903-4, 2014
94	Sugimoto N, Toma T, Shimizu M, Kuroda M, Wada T, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Shiga toxin-2 enhances heat-shock-induced apoptotic cell death in cultured and primary glial cells.	Cell Biol Toxicol. 30(5):289-99, 2014
95	Shimizu M, Hamaguchi Y, Ishikawa S, Ueno K, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Successful treatment with tocilizumab of a psoriasiform skin lesion induced by etanercept in a patient with juvenile idiopathic arthritis.	Mod Rheumatol. 15(12):1-2, 2014
96	Shimizu M, Ueno K, Ishikawa S, Tokuhisa Y, Inoue N, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Treatment of refractory polyarticular juvenile idiopathic arthritis with tacrolimus.	Rheumatology (Oxford). 53(11):2120-2, 2014

97	Wada T, Matsuda Y, Muraoka M, Toma T, Yachie A.	Department of Pediatrics, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Science, Kanazawa University	Fecal eosinophil-derived neurotoxin in cow's milk-sensitive enteropathy: a case report.	Allergol Int. 64(1):99-100, 2015
98	T. Ogi	Department of Radiology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Forcible intraarterial injection of a nonadhesive liquid embolic agent under microballoon occlusion: experimental study in swine liver	J Vasc Interv Radiol, 25 4, 579-585 e2, 2014
99	S. Takamatsu	Department of Radiotherapy, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Utility of an initial adaptive bladder volume control with ultrasonography for proton-beam irradiation for prostate cancer	Jpn J Radiol, 32 10, 618-22, 2014
100	T. Endo	Department of Radiology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Hemodynamics and progression of a hypervascular focus in a borderline lesion of hepatocellular carcinoma: analysis by angiography-assisted CT and histopathology	Japanese journal of radiology, 32 2, 69-79, 2014
101	S. Takamatsu	Proton Therapy Center, Fukui Prefectural Hospital	Basaloid squamous cell carcinoma in the nasal cavity treated with proton beam therapy concurrent with cisplatin: a case report	J Med Case Rep, 8 123, 2014
102	Hatta Y, Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K	Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	The clinical characteristics of juvenile-onset systemic sclerosis in Japanese patients	Mod Rheumatol, 24 (2),377-376, 2014
103	Kaji K, Fertig N, Medsger TA Jr, Satoh T, Hoshino K, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Lucas M, Schnure A, Ogawa F, Sato S, Takehara K, Fujimoto M, Kuwana M	Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences and Komatsu Municipal Hospital	Autoantibodies to RuvBL1 and RuvBL2: A novel systemic sclerosis-related antibody associated with diffuse cutaneous and skeletal muscle involvement	Arthritis Care Res, 66(4), 575-584,2014
104	Oishi K, Hamaguchi Y, Matsushita T, Hasegawa M, Okiyama N, Dervedde J, Weinhart M, Haag R, Tedder TF, Takehara K, Kohsaka H, Fujimoto M	Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	A crucial role of L-selectin in C protein-induced experimental polymyositis of mice	Arthritis Rheum, 66 (7), 1867-3871,2014
105	Le Huu D, Kimura H, Date M, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Hau KT, Fujimoto M, Takehara K, Matsushita T	Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	Blockade of Syk ameliorates the development of murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease	J Dermatol Sci, 74 (3), 214-221,2014
106	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K	Department of Dermatology, School of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical, and Health Sciences, Kanazawa University	Serum adhesion molecule levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicentre, prospective, observational study	PLoS One, 9(2), e88150, 2014
107	Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Matsushita T	Department of Dermatology Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical, and Health Sciences, Kanazawa University	B Cells Promote tumor immunity against B16F10 melanoma	Am J Pathol, 184(11), 3120-3129, 2014
108	Hamaguchi Y, Ohyama M	Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	Tidying up the diversity of IgG4-related skin disease	Br J Dermatol, 171, 929, 2014
109	Moriya M, Yamada T, Tamura M, Ishikawa D, Hoda MA, Matsumoto I, Klepetko W, Oda M, Yano S, Watanabe G	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Antitumor effect and antiangiogenic potential of the mTOR inhibitor temsirolimus against malignant pleural mesothelioma	Oncol Rep, 31(3): 1109-15, 2014
110	Moriyama H, Tomita S, Watanabe G.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Dynamic evaluation of the loop technique using the U-Clip.	Asian Cardiovasc Thorac Ann, 22(2):160-4, 2014 Feb
111	Yamaguchi S, Ishikawa N, Tomita S, Ohtake H, Kiuchi R, Nishida Y, Muramatsu K, Watanabe G.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Robotic resection of dual accessory mitral valve tissue in an adult patient.	Ann Thorac Surg, 98(3):1096-8, 2014 Sep
112	Kiuchi R, Tomita S, Yamaguchi S, Nishida Y, Ohtake H, Nakamura H, Watanabe G.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	A novel coronary active perfusion system using a conventional intra-aortic balloon pump for off-pump coronary artery bypass grafting.	J Thorac Cardiovasc Surg, 148(1):304-10, 2014 Jul
113	Ishikawa N, Watanabe G, Tomita S, Yamaguchi S, Nishida Y, Iino K.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Robot-assisted minimally invasive direct coronary artery bypass grafting. ThoraCAB.	Circ J, 78(2):399-402, 2014
114	Watanabe G, Yamaguchi S, Takagi T, Tomita S, Tuan PM.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Potent vasodilatory effect of fasudil on radial artery graft in coronary artery bypass operations.	Ann Thorac Surg, 97(3):845-50, 2014 Mar
115	Ikeda C, Watanabe G, Ishikawa N, Ohtake H, Tomita S.	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Harvesting bilateral internal thoracic arteries using a novel subxiphoid approach versus the conventional lateral thoracic approach—results of an experimental study.	J Thorac Cardiovasc Surg, 148(2):461-7, 2014 Aug

116	Masanari Shimada, Masahiko Kawaguchi, Norihiko Ishikawa, and Go Watanabe	Department of General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Saline-filled laparoscopic surgery : Abasic study on partial hepatectomy in a rabbit model.	Minim Invasive Ther Allied Technol, 26:1-8, 2014 Dec
117	Tarui T, Ishikawa N, Kadoya S, Watanabe G	General and Cardiothoracic Surgery, Kanazawa University	Co-occurrence of papillary thyroid cancer and MALT lymphoma of the thyroid with severe airway obstruction: A case report and review of the literature.	Int J Surg Case Rep, 5(9):594-7, 2014
118	Sakai S, Tajima H, Miyashita T, Nakanuma S, Makino I, Hayashi H, Nakagawara H, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Saito H, Muneseue S, Yamamoto Y, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Sivelestat sodium hydrate inhibits neutrophil migration to the vessel wall and suppresses hepatic ischemia-reperfusion injury.	Dig dis Sci 59(4):787-794, 2014.04
119	Kitagawa H, Tajima H, Nakagawara H, Makino I, Miyashita T, Shoji M, Nakanuma S, Hayashi H, Takamura H, Ohta T, Ohtake H.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	En bloc vascular resection for the treatment of borderline resectable pancreatic head carcinoma.	Molecular and Clinical Oncology 2(3):369-374, 2014.05
120	Okamoto K, Ninomiya I, Maruzen S, Tsukada T, Kinoshita J, Makino I, Nakamura K, Oyama K, Tajima H, Takamura H, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Predictive factors for postoperative tachyarrhythmia after thoracoscopic esophagectomy and the usefulness of landiolol hydrochloride for its treatment	Esophagus 11:89-98, 2014.05
121	Hayashi H, Takamura H, Higashi Y, Shoji M, Nakanuma S, Tajima H, Kitagawa H, Fushida S, Kosaka K, Kitahara M, Kakinoki K, Tani T, Kaneko S, Ohta T	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Relationship between midgut malrotation and anatomy of the hepatoduodenal ligament: a rare anatomical variation in a deceased donor.	Transplantation Proceedings 46(4):1087-1089, 2014.05
122	Kinoshita J, Fushida S, Tsukada T, Oyama K, Watabane T, Shoji M, Okamoto K, Nakanuma S, Sakai S, Makino I, Furukawa H, Hayashi H, Nakamura K, Inokuchi M, Nakagawara H, Miyashita T, Tajima H, Takamura H, Ninomiya I, Fujimura T, Yashiro M, Hirokawa K, Ohta	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Comparative study of the antitumor activity of Nab-paclitaxel and intraperitoneal solvent-based paclitaxel regarding peritoneal metastasis in gastric cancer.	Oncology Reports 32(1):89-96, 2014.05
123	Miyashita T, Tajima H, Furhawn A, Shah, Oshima M, DVM, Makino I, Nakagawara H, Kitagawa H, Fujimura T, John W. Harmon, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Impact of inflammation-metaplasia-adenocarcinoma sequence and inflammatory microenvironment in esophageal carcinogenesis using surgical rat models.	Ann Surg Oncol 21(6):2012-2019, 2014.06
124	Ohbatake Y, Makino I, Kitagawa H, Nakanuma S, Hayashi H, Nakagawara H, Miyashita T, Tajima H, Takamura H, Ninomiya I, Fushida S, Fujimura T, Ohta T	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	A case of pancreatic schwannoma - The features in imaging studies compared with its pathological findings: Report of a case.	Clin J Gastroenterol 7(3):265-270, 2014.06
125	Kinoshita J, Fushida S, Tsukada T, Oyama K, Watanabe T, Okamoto K, Makino I, Nakanuma S, Hayashi H, Nakagawara H, Miyashita T, Tajima H, Ninomiya I, Kitagawa H, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Colonic stenosis caused by infection of an intraperitoneal access port system: a rare complication of intraperitoneal chemotherapy for gastric cancer with peritoneal metastasis.	World Journal of Surigical Oncology 12:177, 2014.06
126	Nakanuma Y, Sato Y, Ojima H, Kanai Y, Aishima S, Yamamoto M, Ariizumi S, Furukawa T, Hayashi H, Unno M, Ohta T, Hepatolithiasis Subdivi-sion of Intractable Hepatobiliary Diseases Study Group of Japan (Chairman, Hirohito Tsubouchi)	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Clinicopathological characterization of so-called "cholangiocarcinoma with intraductal papillary growth" with respect to "intraductal papillary neoplasm of bile duct (IPNB)"	Int J Clin Exp Pathol 7(6):3112-3122, 2014.06
127	Miyashita T, Tajima H, Munemoto M, Shah F, Harmon J.W, Watanabe T, Shoji M, Okamoto K, Nakanuma S, Sakai S, Kinoshita J, Makino I, Nakamura K, Hayashi H, Oyama K, Inokuchi M, Nakagawara H, Takamura H, Ninomiya I, Kitagawa H, Fushida S, Mukaisho K, Fujimur	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Impact of histone deacetylase 1 and metastasis-associated gene 1 expression in esophageal carcinogenesis.	Oncology Letters 8(2):758-764, 2014.08
128	Tsukada T, Kaji M, Higashi Y, Terai S, Amaya K, Shimizu K.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Single-incision laparoscopic apperndectomy for treating appendicitis in a patient with gastrointestinal malrotation.	Int J Surgery Case Reports 5(8):558-561, 2014.08

129	Kitagawa H, Tajima H, Nakagawara H, Makino I, Miyashita T, Terakawa H, Nakanuma S, Hayashi H, Takamura H, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	A modification of radical antegrade modular pancreatosplenectomy for adenocarcinoma of the left pancreas: Significance of En Bloc resection including the anterior renal fascia.	World J Surg 38(9):2448-2454, 2014.09
130	Ninomiya I, Okamoto K, Oyama K, Hayashi H, Miyashita T, Tajima H, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Feasibility of esophageal reconstruction using a pedicled jejunum with intrathoracic esophagojejunostomy in the upper mediastinum for esophageal cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 62(10):627-634, 2014.10
131	Ohtsubo K, Yamada T, Zhao L, Jin TF, Takeuchi S, Mouri H, Yamashita K, Yasumoto K, Fujita N, Kitagawa H, Ohta T, Ikeda H, Yano S.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Expression of Akt kinase-interacting protein 1, a scaffold protein of the PI3K/PDK1/Akt pathway, in pancreatic cancer.	Pancreas 43(7):1093-1100, 2014.10
132	Nakagawara H, Tajima H, Miyashita T, Kitagawa H, Makino I, Sakai S, Hayashi H, Nakanuma S, Oyama K, Takamura H, Fushida S, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Lymph node spread of gallbladder cancer from the perspective of embryologically-based anatomy and significance of the lymphatic basin along the embryonic right hepatic artery.	Molecular and Clinical Oncology 2(6):963-967, 2014.11
133	Ninomiya I, Yamazaki K, Oyama K, Hayashi H, Tajima H, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Pioglitazone inhibits the proliferation and metastasis of human pancreatic cancer cells.	Oncology Letters 8(6):2709-2714, 2014.11
134	Makino I, Tajima H, Kitagawa H, Nakagawara H, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	A rare case of hemangiomas of the spleen and intrapancreatic accessory spleen.	Abdominal Imaging 39(6):1169-1174, 2014.12
135	Okazaki M, Fushida S, Harada S, Tsukada T, Kinoshita J, Oyama K, Tajima H, Ninomiya I, Fujimura T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	The angiotensin II type 1 receptor blocker candesartan suppresses proliferation and fibrosis in gastric cancer.	Cancer Letters 355(1):46-53, 2014.12
136	Yamaguchi Y, Takamura H, Tada Y, Akagi T, Oyama K, Miyashita T, Tajima H, Kitagawa H, Fushida S, Yokota T, Ohta T, Koide H.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Nanog positively regulates Zfp57 expression in mouse embryonic stem cells.	Biochemical and Biophysical Research Communications 453(4):817-820, 2014.12
137	Terakawa H, Makino I, Nakagawara H, Miyashita T, Tajima H, Kitagawa H, Fujimura T, Kozaka K, Gabata T, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Clinical and radiological feature of lymphoepithelial cyst of the pancreas.	World Journal of Gastroenterology 20(45):17247-17253, 2014.12
138	Hayashi H, Takamura H, Nakanuma S, Makino I, Tajima H, Fushida S, Hanazaki K, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Application of an artificial pancreas for a liver transplant recipient.	Experimental and Clinical Transplantation 12(6): 572-573, 2014.12
139	Takamura H, Nakanuma S, Hayashi H, Tajima H, kakinoki K, Kitahara M, Sakai S, Makino I, Nakagawara H, Miyashita T, Okamoto K, Nakamura K, Oyama K, Inokuchi M, Ninomiya I, Kitagawa H, Fushida S, Fujimura T, Onishi I, Kayahara M, Tani T, Arai K, Yamashita T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Severe Venous-occlusive Disease/Sinusoidal Obstruction Syndrome After Deceased-donor and Living-donor Liver Transplantation.	Transplantation Proceedings 46(10): 3523-3535, 2014.12
140	Oyama K, Fushida S, Tsukada T, Kinoshita J, Watanabe T, Shoji M, Nakanuma S, Okamoto K, Sakai S, Makino I, Nakamura K, Hayashi H, Inokuchi M, Nakagawara H, Miyashita T, Tajima H, Takamura H, Ninomiya I, Kitagawa H, Fujimura T, Tajiri R, Ooi A, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Evaluation of serum HER2-ECD levels in patients with gastric cancer.	J Gastroenterol 50(1):41-45, 2015.01
141	Miyashita T, Tajima H, Makino I, Nakagawara H, Kitagawa H, Fushida S, Harmon JW, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Metastasis-promoting role of extravasated platelet activation in tumor.	Journal of Surgical Research 193(1):289-294, 2015.01
142	Ninomiya I, Okamoto K, Tsukada T, Saito H, Fushida S, Ikeda H, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Thoracoscopic radical esophagectomy and laparoscopic transhiatal lymph node dissection for superficial esophageal cancer associated with lymph node metastases in the dorsal area of the thoracic aorta.	Surgical Case Reports 2015(1):25 2015.01
143	Shinbo T, Fushida S, Tsukada T, Harada S, Kinoshita J, Oyama K, Fujimura T, Yashiro H, Hirokawa K, Ohta T.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Protein-bound polysaccharide K suppresses tumor fibrosis in gastric cancer by inhibiting the TGF-beta signaling pathway.	Oncology Reports 33(2):553-558, 2015.02
144	Tsukada T, Saito H, Amaya K, Terada I, Kaji M, Shimizu K.	Department of Gastroenterological Surgery, Kanazawa University	Hybrid laparoscopic and anterior approach for postsurgical inguinal hernia after iliofemoral arterial bypass.	International Surgery 100(3):431-435, 2015.03

145	Nomura I, Watanabe K, Matsubara H, Nishida H, Shirai T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Correction of a severe poliomyelitic equinovarus foot using an adjustable external fixation frame.	J Foot Ankle Surg. 2014 Mar-Apr;53(2):235-8
146	Murakami H, Kato S, Ueda Y, Fujimaki Y, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University	Reconstruction using a frozen tumor-bearing vertebra in total en bloc spondylectomy can enhance antitumor immunity.	Eur Spine J. 2014 May;23 Suppl 2:222-7
147	Kato S, Murakami H, Demura S, Yoshioka K, Kawahara N, Tomita K, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University School of Medicine	More than 10-year follow-up after total en bloc spondylectomy for spinal tumors.	Ann Surg Oncol. 2014 Apr;21(4):1330-6
148	Kuroda K, Kabata T, Maeda T, Kajino Y, Watanabe S, Iwai S, Kenji F, Hasegawa K, Inoue D, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	The value of computed tomography based navigation in revision total hip arthroplasty.	Int Orthop. 2014 Apr;38(4):711-6
149	Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Hayashi H, Inoue K, Ota T, Shinmura K, Yokogawa N, Fang X, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University	Systemic antitumor immune response following reconstruction using frozen autografts for total en bloc spondylectomy.	Spine J. 2014 Aug 1;14(8):1567-71
150	Suganuma S, Tada K, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Reducing the risk of flexor pollicis longus tendon rupture after volar plate fixation for distal radius fractures: validation of the tendon irritation test.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2014 Dec;24(8):1425-9
151	Iwai S, Kabata T, Maeda T, Kajino Y, Watanabe S, Kuroda K, Fujita K, Hasegawa K, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Three-dimensional kinetic simulation before and after rotational acetabular osteotomy.	J Orthop Sci. 2014 May;19(3):443-50
152	Kuroda K, Kabata T, Maeda T, Kajino Y, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medicine	Do we need intraoperative radiographs for positioning the femoral component in total hip arthroplasty?	Arch Orthop Trauma Surg. 2014 May;134(5):727-33
153	Igarashi K, Yamamoto N, Shirai T, Hayashi K, Nishida H, Kimura H, Takeuchi A, Tsuchiya H	Kanazawa University, Department of Orthopaedic Surgery	The long-term outcome following the use of frozen autograft treated with liquid nitrogen in the management of bone and soft-tissue sarcomas.	Bone Joint J. 2014 Apr;96-B(4):555-61
154	Nomura I, Watanabe K, Matsubara H, Hayashi K, Sugimoto N, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Uncultured autogenous adipose-derived regenerative cells promote bone formation during distraction osteogenesis in rats.	Clin Orthop Relat Res. 2014 Dec;472(12):3798-806
155	Nakase J, Kitaoka K, Toratani T, Kosaka M, Ohashi Y, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, School of Medicine, Kanazawa University	Grafted tendon healing in femoral and tibial tunnels after anterior cruciate ligament reconstruction.	J Orthop Surg (Hong Kong). 2014 Apr;22(1):65-9
156	Yokogawa N, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Hayashi H, Ishii T, Igarashi T, Fang X, Tsuchiya H	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Perioperative complications of total en bloc spondylectomy: adverse effects of preoperative irradiation.	PLoS One. 2014 Jun 3;9(6):e98797
157	Ogawa K, Kabata T, Maeda T, Kajino Y, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Accurate leg length measurement in total hip arthroplasty: a comparison of computer navigation and a simple manual measurement device.	Clin Orthop Surg. 2014 Jun;6(2):153-8
158	Shirai T, Tsuchiya H, Nishida H, Yamamoto N, Watanabe K, Nakase J, Terauchi R, Arai Y, Fujiwara H, Kubo T	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Antimicrobial megaprotheses supported with iodine.	J Biomater Appl. 2014 Oct;29(4):617-23
159	Shirai T, Watanabe K, Matsubara H, Nomura I, Fujiwara H, Arai Y, Ikoma K, Terauchi R, Kubo T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University	Prevention of pin tract infection with iodine-supported titanium pins.	J Orthop Sci. 2014 Jul;19(4):598-602
160	Kimura H, Yamamoto N, Nishida H, Hayashi K, Takeuchi A, Nojima T, Ikeda H, Sawada-Kitamura S, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Synovial sarcoma in knee joint, mimicking low-grade sarcoma confirmed by molecular detection of SYT gene split.	Anticancer Res. 2014 Jun;34(6):3105-11
161	Hayashi K, Iwata S, Ogose A, Kawai A, Ueda T, Otsuka T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Factors that influence functional outcome after total or subtotal scapulectomy: Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study.	PLoS One. 2014 Jun 17;9(6):e100119
162	Miwa S, Matsumoto Y, Hiroshima Y, Yano S, Uehara F, Yamamoto M, Zhang Y, Kimura H, Hayashi K, Yamamoto N, Bouvet M, Sugimoto N, Tsuchiya H, Hoffman RM	Department of Orthopedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Fluorescence-guided surgery of prostate cancer bone metastasis.	J Surg Res. 2014 Nov;192(1):124-33
163	Aikawa T, Watanabe K, Matsubara H, Nomura I, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Tibiocalcaneal Fusion for Charcot Ankle with Severe Talar Body Loss: Case Report and a Review of the Surgical Literature.	J Foot Ankle Surg. 2014 Aug 9

164	Hayashi H, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Shinmura K, Yokogawa N, Ishii T, Fang X, Shirai T, Tsuchiya H	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Surgical site infection after total en bloc spondylectomy: risk factors and the preventive new technology.	Spine J. 2015 Jan 1;15(1):132-7
165	Miwa S, Hiroshima Y, Yano S, Zhang Y, Matsumoto Y, Uehara F, Yamamoto M, Kimura H, Hayashi K, Bouvet M, Tsuchiya H, Hoffman RM	Department of Orthopedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Fluorescence-guided surgery improves outcome in an orthotopic osteosarcoma nude-mouse model.	J Orthop Res. 2014 Dec;32(12):1596-601
166	Demura S, Murakami H, Shirai T, Kato S, Yoshioka K, Ota T, Ishii T, Igarashi T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, School of Medicine, Kanazawa University	Surgical treatment for pyogenic vertebral osteomyelitis using iodine-supported spinal instruments: initial case series of 14 patients.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2015 Feb;34(2):261-6
167	Miwa S, Yano S, Zhang Y, Matsumoto Y, Uehara F, Yamamoto M, Hiroshima Y, Kimura H, Hayashi K, Yamamoto N, Bouvet M, Tsuchiya H, Hoffman RM, Zhao M	Department of Orthopedic Surgery; Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R prevents experimental human breast cancer bone metastasis in nude mice.	Oncotarget. 2014 Aug 30;5(16):7119-25
168	Miwa S, Takeuchi A, Shirai T, Yamamoto N, Hayashi K, Nishida H, Kimura H, Igarashi K, Tsuchiya H	Department of Orthopedic Surgery, Kanazawa University School of Medicine	Outcomes and complications of reconstruction using tumor-bearing frozen autografts in patients with metastatic bone tumors.	Anticancer Res. 2014 Oct;34(10):5569-77
169	Yokogawa N, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Hayashi H, Ishii T, Fujii M, Igarashi T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Motor function of the upper-extremity after transection of the second thoracic nerve root during total en bloc spondylectomy.	PLoS One. 2014 Oct 15;9(10):e109838
170	Yahata T, Takeuchi A, Yoshida S, Tsuchiya H	Section of Physical and Rehabilitation Medicine, Central Medical Facilities, Kanazawa University Hospital	Distinctive features of stump volume change in a fresh lower limb amputee with Parkes-Weber syndrome.	BMJ Case Rep. 2014 Oct 21;2014
171	Okamoto S, Tada K, Ai H, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Flexor carpi ulnaris muscle flap for soft tissue reconstruction after total elbow arthroplasty.	Case Rep Surg. 2014;2014:798506. doi: 10.1155/2014/798506. Epub 2014 Oct 7
172	Kato S, Murakami H, Demura S, Yoshioka K, Kawahara N, Tomita K, Tsuchiya H	Kanazawa University School of Medicine, Department of Orthopaedic Surgery	Patient-reported outcome and quality of life after total en bloc spondylectomy for a primary spinal tumour.	Bone Joint J. 2014 Dec;96-B(12):1693-8
173	Yoshioka K, Murakami H, Demura S, Kato S, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University, Graduate School of Medical Science	Prevalence and risk factors for development of venous thromboembolism after degenerative spinal surgery.	Spine (Phila Pa 1976). 2015 Mar 1;40(5):E301-6
174	Igarashi K, Yamamoto N, Hayashi K, Takeuchi A, Miwa S, Odani A, Tsuchiya H	Department of Orthopedic Surgery, Kanazawa University	Effectiveness of two novel anionic and cationic platinum complexes in the treatment of osteosarcoma.	Anticancer Agents Med Chem. 2015;15(3):390-9
175	Miwa S, Zhang Y, Baek KE, Uehara F, Yano S, Yamamoto M, Hiroshima Y, Matsumoto Y, Kimura H, Hayashi K, Yamamoto N, Bouvet M, Tsuchiya H, Hoffman RM, Zhao M	Department of Orthopedic Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences	Inhibition of spontaneous and experimental lung metastasis of soft-tissue sarcoma by tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R.	Oncotarget. 2014 Dec 30;5(24):12849-61
176	Kimura H, Yamamoto N, Shirai T, Nishida H, Hayashi K, Tanzawa Y, Takeuchi A, Igarashi K, Inatani H, Shimozaki S, Kato T, Aoki Y, Higuchi T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Efficacy of triplet regimen antiemetic therapy for chemotherapy-induced nausea and vomiting (CINV) in bone and soft tissue sarcoma patients receiving highly emetogenic chemotherapy, and an efficacy comparison of single-shot palonosetron and consecutive-day granisetron for CINV in a randomized, single-blinded crossover study.	Cancer Med. 2015 Mar;4(3):333-41
177	Kato S, Murakami H, Demura S, Yoshioka K, Hayashi H, Yokogawa N, Fang X, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University School of Medicine	Vertebral Osteomyelitis Caused by Mycobacterium abscessus Surgically Treated Using Antibacterial Iodine-Supported Instrumentation.	Case Rep Orthop. 2014;2014:197061. doi: 10.1155/2014/197061. Epub 2014 Dec 2
178	Igarashi K, Yamamoto N, Shirai T, Nishida H, Hayashi K, Tanzawa Y, Kimura H, Takeuchi A, Miwa S, Inatani H, Shimozaki S, Kato T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Kanazawa University	Late recurrence of osteosarcoma: a report of two cases.	J Orthop Surg (Hong Kong). 2014 Dec;22(3):415-9
179	Hayashi K, Yamada S, Inatani H, Okamoto H, Takeuchi A, Nishida H, Yamamoto N, Tsuchiya H, Otsuka T	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Salvage method for unplanned excision of soft tissue sarcoma: long-term results of second-look surgery following radio-hyperthermo-chemotherapy.	Anticancer Res. 2015 Jan;35(1):493-8
180	Inoue D, Kabata T, Maeda T, Kajino Y, Fujita K, Hasegawa K, Yamamoto T, Tsuchiya H	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Value of computed tomography-based three-dimensional surgical preoperative planning software in total hip arthroplasty with developmental dysplasia of the hip.	J Orthop Sci. 2015 Mar;20(2):340-6

181	Takeuchi A, Lewis VO, Satcher RL, Moon BS, Lin PP	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	What are the factors that affect survival and relapse after local recurrence of osteosarcoma?	Clin Orthop Relat Res. 2014 Oct;472(10):3188–95
182	Yaegashi H, Izumi K, Kitagawa Y, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Differential diagnosis between bacterial infection and neoplastic fever in patients with advanced urological cancer: the role of procalcitonin.	Int J Urol 2014;21(1):104–106.
183	Iijima M, Koh E, Izumi K, Taya M, Maeda Y, Kyono K, Yoshida A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	New molecular diagnostic kit to assess Y-chromosome deletions in the Japanese population.	Int J Urol 21(9): 910–6, 2014
184	Izumi K, Lin WJ, Miyamoto H, Huang CK, Maolake A, Kitagawa Y, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Outcomes and predictive factors of prostate cancer patients with extremely high prostate-specific antigen level.	Journal of cancer research and clinical oncology 2014. Aug;140(8):1413–9
185	Izumi K, Itai S, Takahashi Y, Maolake A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Predictive factor and antihypertensive usage of tyrosine kinase inhibitor-induced hypertension in kidney cancer patients.	Oncol Lett 8: 305–308, 2014.
186	Kadono Y, Ueno S, Makino T, Ofude M, Izumi K, Gabata T, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Intrapelvic fat makes robot-assisted radical prostatectomy difficult.	Anticancer Res 34(10): 5523–8, 2014
187	Kadono Y, Ueno S, Yaegashi H, Ofude M, Izumi K, Maeda Y, Mizokami A, Miwa S, Miyagi T, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Urodynamic evaluation before and immediately after robot-assisted radical prostatectomy.	Urology 2014;84(1):106–111.
188	Kitagawa Y, Izumi K, Sawada K, Mizokami A, Nakashima K, Koshida K, Nakashima T, Miyazaki K, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Age-specific reference range of prostate-specific antigen and prostate cancer detection in population-based screening cohort in Japan: Verification of Japanese Urological Association Guideline for prostate cancer.	Int J Urol 2014.Nov;21(11):1120–5.
189	Kitagawa Y, Machioka K, Yaegashi H, Nakashima K, Ofude M, Izumi K, Ueno S, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Decreasing trend in prostate cancer with high serum prostate-specific antigen levels detected at first prostate-specific antigen-based population screening in Japan.	Asian journal of andrology 2014. Nov–Dec;16(6):833–7.
190	Kitagawa Y, Sawada K, Mizokami A, Nakashima K, Koshida K, Nakashima T, Miyazaki K, Takeda Y, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Clinical characteristics and prostate-specific antigen kinetics of prostate cancer detected in repeat annual population screening in Japan.	Int J Urol 2014;21(5):461–465.
191	Kitagawa Y, Sawada K, Urata S, Izumi K, Ueno S, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Impact of PSA Levels on Second-round Screening for the Development of Prostate Cancer in Men with Low Baseline PSA Levels (≤ 2.0 mg/ml).	Anticancer Res 2014;34(11):6739–6746.
192	Kitagawa Y, Ueno S, Izumi K, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Cumulative probability of prostate cancer detection in biopsy according to free/total PSA ratio in men with total PSA levels of 2.1–10.0 ng/ml at population screening.	Journal of cancer research and clinical oncology 2014;140(1):53–59.
193	Kitagawa Y, Ueno S, Izumi K, Mizokami A, Hinotsu S, Akaza H, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Nadir prostate-specific antigen (PSA) level and time to PSA nadir following primary androgen deprivation therapy as independent prognostic factors in a Japanese large-scale prospective cohort study (J-CaP).	Journal of cancer research and clinical oncology 2014;140(4):673–679.
194	Kitagawa Y, Urata S, Narimoto K, Nakagawa T, Izumi K, Kadono Y, Konaka H, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Cumulative Probability of Prostate Cancer Detection Using the International Prostate Symptom Score in a Prostate-specific Antigen-based Population Screening Program in Japan.	Asian Pacific journal of cancer prevention : APJCP 2014;15(17):7079–7083.
195	Machioka K, Kitagawa Y, Izumi K, Kitamura S, Ikeda H, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Inflammatory myofibroblastic tumor of the urinary bladder with benign pelvic lymph node enlargement: a case report.	Case Rep Oncol 16;7(2): 571–5, 2014
196	Nakashima K, Shigehara K, Kawaguchi S, Wakatsuki A, Kobori Y, Nakashima K, Ishii Y, Shimamura M, Sasagawa T, Kitagawa Y, Mizokami A, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Prevalence of human papillomavirus infection in the oropharynx and urine among sexually active men: a comparative study of infection by papillomavirus and other organisms, including Neisseria gonorrhoeae, Chlamydia trachomatis, Mycoplasma spp., and Ureaplasma spp.	BMC infectious diseases 2014;14:43.

197	Taya M, Koh E, Izumi K, Iijima M, Maeda Y, Matsushita T, Iwamoto T, Namiki M.	Department of Integrative Cancer Therapy and Urology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Comparison of testosterone fractions between Framingham Heart Study participants and Japanese participants.	Int J Urol 21(7): 689–95, 2014
198	Sakurai M, Higashide T, Ohkubo S, Takeda H, Sugiyama K	Department of Ophthalmology and Visual Science, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Association between genetic polymorphisms of the prostaglandin F2alpha receptor gene, and response to latanoprost in patients with glaucoma and ocular hypertension.	Br J Ophthalmol. 98(4):469–473, 2014
199	Ohkubo S, Higashide T, Udagawa S, Sugiyama K, Hangai M, Yoshimura N, Mayama C, Tomidokoro A, Araie M, Iwase A, Fujimura T	Department of Ophthalmology and Visual Science, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Focal relationship between structure and function within the central 10 degrees in glaucoma.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55(8):5269–5277, 2014
200	Kobayashi A, Yokogawa H, Yamazaki N, Masaki T, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Endothelial keratoplasty with infant donor tissue.	Clin Ophthalmol. 8:1827–1830, 2014
201	Yokogawa H, Kobayashi A, Yamazaki N, Masaki T, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Surigical therapies for corneal perforations:10years of cases in a tertiary referral hospital.	Clin Ophthalmol. 8:2165–2170, 2014
202	Nakatani Y, Higashide T, Ohkubo S, Sugiyama K	Department of Ophthalmology and Visual Science, Kanazawa University Graduate School of Medical Science: Department of Ophthalmology, Koseiren Takaoka Hospital	Influences of the inner retinal sublayers and analytical areas in macular scans by spectral-domain OCT on the diagnostic ability of early glaucoma.	Invest Ophthalmol Vis Sci. Oct 23. 2014
203	Yamazaki N, Kobayashi A, Yokogawa H, Ishibashi Y, Oikawa Y, Tokoro M, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	In Vivo Imaging of Radial Keratoneuritis in Patients with Acanthamoeba keratitis by Anterior-Segment Optical Coherence Tomography.	Ophthalmology. 121(11):2153–2158, 2014
204	Yokogawa H, Kobayashi A, Yamazaki N, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	In vivo imaging of coin-shaped lesions in cytomegalovirus corneal endotheliitis by anterior segment optical coherence tomography.	Cornea. 33(12):1332–1335, 2014
205	Kobayashi A, Murata N, Yokogawa H, Yamazaki N, Masaki T, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Evaluation of Internationally Shipped prestripped Donor Tissue for Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty by Vital Dye Staining.	CORNEA. 59(1):1–7,2015
206	Kobayashi A, Yokogawa H, Yamazaki N, Masaki T, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	The use of endoillumination probe-assisted Descemet membrane endothelial keratoplasty for bullous keratopathy secondary to argon laser iridotomy.	Clin Ophthalmol. 9:91–93,2015
207	Ijiri S, Sugiyama K	Department of Ophthalmology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Short-term efficacy of intravitreal aflibercept for patients with treatment-naïve polypoidal choroidal vasculopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 253(3):351–357,2015
208	Aga M, Kondo S, Yamada K, Wakisaka N, Yagi-Nakanishi S, Tsuji A, Endo K, Muroso S, Ito M, Muramatsu M, Kawano M, Yoshizaki T.	Division of Otolaryngology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Immunoglobulin class switching to IgG4 in Warthin tumor and analysis of serum IgG4 levels and IgG4-positive plasma cells in the tumor.	Hum Pathol. 45 4 793–801 2014
209	Aga M, Bentz GL, Raffa S, Torrisi MR, Kondo S, Wakisaka N, Yoshizaki T, Pagano JS, Shackelford J.	Division of Otolaryngology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Exosomal HIF1alpha supports invasive potential of nasopharyngeal carcinoma-associated LMP1-positive exosomes.	Oncogene. 33 37 4613–4622 2014
210	Ishikawa K, Yagi-Nakanishi S, Nakanishi Y, Kondo S, Tsuji A, Endo K, Wakisaka N, Muroso S, Yoshizaki T.	Division of Otolaryngology, and Head & Neck Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Expression of interleukin-33 is correlated with poor prognosis of patients with squamous cell carcinoma of the tongue.	Auris Nasus Larynx. 41 6 552–557 2014
211	Muroso S, Ishikawa N, Ohtake H, Tsuji A, Endo K, Kondo S, Wakisaka N, Yoshizaki T.	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, School of Medicine, Kanazawa University	Intraoperative free jejunum flap monitoring with indocyanine green near-infrared angiography.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 271 5 1335–1338 2014
212	Muroso S, Tsuji A, Endo K, Kondo S, Wakisaka N, Yoshizaki T.	Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, Kanazawa University	Evaluation of modified Killian's method: a technique to expose the hypopharyngeal space.	Laryngoscope. 124 11 2526–2530 2014
213	Yamamoto S, Tsumura N, Yoshizaki T, Ogawa-Ochiai K.	Department of Otorhinolaryngology & Head and Neck Surgery, Kanazawa University Hospital	Oxygen saturation of skin reflects blood flow and stagnation.	Artif Life Robotics. 19 2 170–175 2014
214	Sugimoto H, Ito M, Hatano M, Yoshizaki T.	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Persistent stapedia artery with stapes ankylosis.	Auris Nasus Larynx. 41 6 582–585 2014

215	Ueno T, Endo K, Kondo S, Wakisaka N, Murono S, Ito M, Yoshizaki T.	Division of Otolaryngology–Head and Neck Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Factors affecting outcomes of alternating chemoradiotherapy for nasopharyngeal cancer.	Ann Otol Rhinol Laryngol. 123 7 509–516 2014
216	Ueno T, Endo K, Hori K, Ozaki N, Tsuji A, Kondo S, Wakisaka N, Murono S, Kataoka K, Kato Y, Yoshizaki T.	Division of Otolaryngology–Head and Neck Surgery, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Assessment of antitumor activity and acute peripheral neuropathy of 1,2–diaminocyclohexane platinum (II)–incorporating micelles (NC–4016).	Int J Nanomedicine. 19 9 3005–3012 2014
217	Hashimoto K, Notoya M, Harada H, Inoue K, Nakatani K, Yoshizaki T.	Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University	Long–term language abilities of subjects with hearing impaired trained by the written–oral language method.	J of Tsuruma Health Science Society Kanazawa University. 38 1 1–10 2014
218	Bono Y	Department of Obstetrics and Gynecology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Concurrent estrogen action was essential for maximal progestin effect in oral contraceptives.	Fertil Steril. 101(5):1337–43, 2014.
219	Nakamura M	Department of Obstetrics and Gynecology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science	Molecular characterization of CD133+ cancer stem–like cells in endometrial cancer.	Int J Oncol. 44(3):669–77, 2014.
220	Mitsutoshi Nakada	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Cerebral Infarction Related to Carmustine Wafers in Glioblastoma: A Case Report.	NMC Case Report Journal / Vol. 2 No. 1 p.36–39 2015
221	Shingo Tanaka	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Strong therapeutic potential of γ –secretase inhibitor MRK003 for CD44–high and CD133–low glioblastoma initiating cells.	J Neurooncol. / Jan;121(2):239–50. 2015
222	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Acute Obstructive Hydrocephalus Caused by Pseudomonas aeruginosa Ventriculitis after Transsphenoidal Surgery: Case Report.	Open Journal of Modern Neurosurgery / Vol.5 No.1, January 2015
223	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Symptomatic foramen of Magendie arachnoid cyst in an elderly patient.	Surg Neurol Int. Jan 20;6:7. 2015
224	Yoshikawa Arakawa	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Deletion of Atf6 α impairs astroglial activation and enhances neuronal death following brain ischemia in mice.	J Neurochem. 2015 Feb;132(3):342–53.
225	Issei Fukui	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Aspergillus Sphenoiditis Associated with an Artificial Bone Graft Used for Transsphenoidal Surgery.	NMC Case Report Journal / Vol. 2(2), 68–71, 2015
226	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Pure Lymphocytic Infundibuloneurohypophysitis Caused by the Rupture of Rathke’s Cleft Cyst: Report of 2 Cases and Review of the Literature.	Turk Neurosurg. 2015;25(2):332–6.
227	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Adenoid cystic carcinoma in the cavernous sinus diagnosed with the endoscopic endonasal approach.	Turk Neurosurg. 2014;24(5):814–8.
228	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Hematoma within the Outer Membrane of the Arachnoid Cyst Located in the Middle Fossa: A Mechanism of Development of Chronic Subdural Hematoma Associated with Arachnoid Cysts.	Open Journal of Modern Neurosurgery, 2014, 4, 97–103
229	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Classification of Headaches Associated with Rathke’s Cleft Cyst According to Their Onset and Duration: A Clinical Study.	Austin J Neurosurg. 2014;1(2): 1009.
230	Yasuhiko Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Endoscopic removal of subgaleal hematoma in a 7–year–old patient treated with anticoagulant and antiplatelet agents.	Surg Neurol Int. 2014 Jun 20;5:98.
231	Shingo Tanaka	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Epithelioid glioblastoma arising from pleomorphic xanthoastrocytoma with the BRAF V600E mutation.	Brain Tumor Pathol. 2014 Jul;31(3):172–6.
232	Koji Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Reversible acute bilateral blindness resulting from a frontal brain tumor: a case report.	Br J Neurosurg. 2014 Dec;28(6):793–5.
233	Takuya Furuta	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Prognostic paradox: brain damage around the glioblastoma resection cavity.	J Neurooncol 118:187–192, 2014
234	Hemragul Sabit	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Characterizing invading glioma cells based on IDH1–R132H and Ki–67 immunofluorescence.	Brain Tumor Pathol. 2014 Oct;31(4):242–6.
235	Yutaka Hayashi	Department of Neurosurgery, Kanazawa University	Functional recovery from pure dyslexia with preservation of subcortical association fiber networks.	Interdisciplinary Neurosurgery Volume 1, Issue 3, September 2014, Pages 59–62
236	Matsuo S, Nakajima K, Kinuya S, Yamagishi M.	Department of Nuclear Medicine, Kanazawa University Hospital	Diagnostic utility of 123I–BMIPP imaging in patients with Takotsubo cardiomyopathy.	J Cardiol. 2014 Jul;64(1):49–56
237	Nakajima K, Nakata T, Yamada T, Yamashina S, Momose M, Kasama S, Matsui T, Matsuo S, TravinMI, Jacobson AF.	Department of Nuclear Medicine, Kanazawa University Hospital	A prediction model for 5–year cardiac mortality in patients with chronic heart failure using 123I–metaiodobenzylguanidine imaging.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2014 Sep;41(9):1673–82
238	Nakajima K, Okuda K, Yoshimura M, Matsuo S, Wakabayashi H, Imanishi Y, Kinuya S.	Department of Nuclear Medicine, Kanazawa University Hospital	Multicenter cross–calibration of I–123 metaiodobenzylguanidine heart–to–mediastinum ratios to overcome camera–collimator variation.	J Nucl Cardiol. 2014 Oct;21(5):970–8

239	Kayano D, Kinuya S.	Department of Nuclear Medicine, Kanazawa University Hospital	Iodine-131 metaiodobenzylguanidine therapy for neuroblastoma: reports so far and future perspective.	ScientificWorldJournal. 2015;2015:189135
240	Yanase M, Kato K, Yoshizawa K, Noguchi N, Kitahara H, Nakamura H	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Prognostic value of vascular endothelial growth factors A and C in oral squamous cell carcinoma.	J Oral Pathol Med 2014, 43:514-20.
241	Kimura I, Kitahara H, Ooi K, Kato K, Noguchi N, Yoshizawa K, Nakamura H, Kawashiri S	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Kanazawa University	Loss of EGFR expression in oral squamous cell carcinoma is associated with invasiveness and epithelial-mesenchymal transition.	Oncol Lett. 2014, in press.
242	Nanjo S, Nakagawa T, Takeuchi S, Kita K, Fukuda K, Nakada M, Uehara H, Nishihara H, Hara E, Uramoto H, Tanaka F, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	In vivo imaging models of bone and brain metastases and pleural carcinomatosis with a novel human EML4-ALK lung cancer cell line.	Cancer Sci. 106(3):244-52, 2015
243	Ebi H, Oze I, Nakagawa T, Ito H, Hosono S, Matsuda F, Takahashi M, Takeuchi S, Sakao Y, Hida T, Faber AC, Tanaka H, Yatabe Y, Mitsudomi T, Yano S, Matsuo K.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Lack of association between the BIM deletion polymorphism and the risk of lung cancer with and without EGFR mutations.	J Thorac Oncol. 10(1):59-66, 2015
244	Li Q, Wang W, Machino Y, Yamada T, Kita K, Oshima M, Sekido Y, Tsuchiya M, Suzuki Y, Nan-Ya K, Iida S, Nakamura K, Iwakiri S, Itoi K, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Therapeutic activity of glycoengineered anti-GM2 antibodies against malignant pleural mesothelioma.	Cancer Sci. 106(1):102-7, 2015
245	Ohtsubo K, Yamada T, Zhao L, Jin TF, Takeuchi S, Mouri H, Yamashita K, Yasumoto K, Fujita N, Kitagawa H, Ohta T, Ikeda H, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Expression of Akt kinase-interacting protein 1, a scaffold protein of the PI3K/PDK1/Akt pathway, in pancreatic cancer.	Pancreas. 43(7):1093-100, 2014
246	Nakade J, Takeuchi S, Nakagawa T, Ishikawa D, Sano T, Nanjo S, Yamada T, Ebi H, Zhao L, Yasumoto K, Matsumoto K, Yonekura K, Yano S.	Divisions of Medical Oncology and Tumor Dynamics and Regulation, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Triple inhibition of EGFR, Met, and VEGF suppresses regrowth of HGF-triggered, erlotinib-resistant lung cancer harboring an EGFR mutation.	J Thorac Oncol. 9(6):775-83,2014
247	Tanimoto A, Yamada T, Nanjo S, Takeuchi S, Ebi H, Kita K, Matsumoto K, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Receptor ligand-triggered resistance to alectinib and its circumvention by Hsp90 inhibition in EML4-ALK lung cancer cells.	Oncotarget. 5(13):4920-8,2014
248	Takeuchi S, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Clinical significance of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors: Sensitivity and resistance.	Respir Investig. 52(6):348-56, 2014
249	Yano S, Nakagawa T.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	The current state of molecularly targeted drugs targeting HGF/Met.	Jpn J Clin Oncol. 44(1):9-12, 2014
250	Ebi H, Faber AC, Engelman JA, Yano S.	Division of Medical Oncology, Cancer Research Institute, Kanazawa University	Not just gRASping at flaws: finding vulnerabilities to develop novel therapies for treating KRAS mutant cancers.	Cancer Sci. 105(5):499-505, 2014
251	Yusuke Nakade, Tadashi Toyama, Kengo Furuichi, Shinji Kitajima, Noriyuki Ohkura, Akihiro Sagara, Yasuyuki Shinozaki, Akinori Hara, Kiyoki Kitagawa, Miho Shimizu, Yasunori Iwata, Hiroyasu Oe, Mikio Nagahara, Hiroshi Horita, Yoshio Sakai, Shuichi Kaneko, Takashi Wada	Clinical Laboratory, Kanazawa University Hospital	Impact of kidney function and urinary protein excretion on pulmonary function in Japanese patients with chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol, 18(5), 763-769, 2014
252	Nakade Y, Toyama T, Furuichi K, Kitajima S, Miyajima Y, Fukamachi M, Sagara A, Shinozaki Y, Hara A, Shimizu M, Iwata Y, Oe H, Nagahara M, Horita H, Sakai Y, Kaneko S, Wada T.	Clinical Laboratory, Kanazawa University Hospital	Impact of kidney function and urinary protein excretion on intima-media thickness in Japanese patients with type 2 diabetes.	Clin Exp Nephrol., Epub ahead of print, 2015
253	Hiroto Yoneyama	Department of Radiological Technology, Kanazawa University Hospital	Elimination of scattered gamma rays from injection sites using upper offset energy windows in sentinel lymph node scintigraphy	Nucl Med Commun. May;36(5):438-44, 2015
254	Hiroto Yoneyama	Department of Radiological Technology, Kanazawa University Hospital	Optimization of attenuation and scatter corrections in sentinel lymph node scintigraphy using SPECT/CT systems	Ann Nucl Med. Apr;29(3):248-55, 2015
255	Hiroki Kawashima	Radiology Division, Kanazawa University Hospital, Division of Health Sciences, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	Wrist rhythm during wrist joint motion evaluated by dynamic radiography	Hand Surg. 19(3):343-7, 2014

256	Yoshikazu Goto, Tetsuo Maeda, Yumiko Nakatu-Goto	Section of Emergency Medicine, Kanazawa University Hospital	Impact of dispatcher-assisted bystander cardiopulmonary resuscitation on neurological outcomes in children with out-of-hospital cardiac arrests: a prospective, nationwide, population-based cohort study	Crit Care, Vol.17, R274, 2013
257	Yoshikazu Goto, Tetsuo Maeda, Yumiko Nakatu-Goto	Section of Emergency Medicine, Kanazawa University Hospital	Decision tree model for predicting long-term outcomes in children with out-of-hospital cardiac arrest: a nationwide, population-based observational study	Crit Care, Vol.18, R133, 2014
258	Yoshikazu Goto, Tetsuo Maeda, Yumiko Nakatu-Goto	Section of Emergency Medicine, Kanazawa University Hospital	Prognostic implications of conversion from non-shockable to shockable rhythms in out-of-hospital cardiac arrest	Crit Care, Vol.18, 528, 2014
259	Shimizu M, Nakayama Y, Taniguchi T.	Department of Pediatrics, School of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University	Successful treatment of enterohemorrhagic Escherichia coli O111-induced acute encephalopathy and hemolytic-uremic syndrome with plasma diafiltration.	Ther Apher Dial. 2014 Oct;18(5):516-8
260	Kita D, Hayashi Y, Kitabayashi T, Kinoshita M, Okajima M, Taniguchi T, Hamada J.	Department of Neurosurgery, Kanazawa University Hospital	Detection of the development of late-onset idiopathic aqueductal stenosis (LIAS) by chronological magnetic resonance imaging: a case report.	Childs Nerv Syst. 2014 Jul;30(7):1317-9
261	Hayashi H, Takamura H, Taniguchi T, Nakanuma S, Nakagawara H, Tajima H, Kitagawa H, Onishi I, Tani T, Ohta T.	Department of Gastroenterologic Surgery, Division of Cancer Medicine, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University	A case of living donor liver transplant recipient treated with novel blood purification "plasma diafiltration".	Int Surg. 2013 Oct-Dec;98(4):428-31
262	Taniguchi T, Sato K, Kurita A, Noda T, Okajima M.	Intensive Care Unit, Kanazawa University Hospital	Attitudes toward automated external defibrillator use in Japan in 2011.	J Anesth. 2014 Feb;28(1):34-7
263	Komura T, Taniguchi T, Sakai Y, Yamashita T, Mizukoshi E, Noda T, Okajima M, Kaneko S.	Intensive Care Unit, Kanazawa University Hospital; Disease Control and Homeostasis, Kanazawa University	Efficacy of continuous plasma diafiltration therapy in critical patients with acute liver failure	J Gastroenterol Hepatol. 2014 Apr;29(4):782-6
264	Masaki Okajima, Yoshinao Koshida, Toru Noda, Takumi Taniguchi	Intensive Care Unit, Kanazawa University Hospital	Olprinone, phosphodiesterase III inhibitor, is useful for patients with severe acute heart failure due to takotsubo cardiomyopathy accompanied by subarachnoid hemorrhage	Acute Medicine & Surgery. 2014, 1:115-118
265	Sai Y, Nishimura T, Muta M, Iizasa H, Miyata T, Nakashima E	Department of Pharmacy, Kanazawa University Hospital	Basic fibroblast growth factor is essential to maintain endothelial progenitor cell phenotype in TR-BME2 cells	Biol Pharm Bull 37(4):688-693 (2014).Apr
266	Sawamoto K, Huong TT, Sugimoto N, Mizutani Y, Sai Y, Miyamoto K	Department of Hospital Pharmacy, University Hospital, Kanazawa University	Mechanisms of lower maintenance dose of tacrolimus in obese patients.	Drug Metab Pharmacokinet 29(4):341-347 (2014). Aug25
267	Herni Astuti, Keisuke Nagase	Kanazawa University, University Hospital.	Patient loyalty to healthcare organizations: strengthening and weakening (satisfaction and provider switching)	Journal of Medical Marketing 14巻 4号 191-200頁 2015
268	Herni Astuti, Keisuke Nagase	Kanazawa University, University Hospital.	Patient Loyalty to Healthcare Organizations : Relationship Marketing and Satisfaction	International Journal of Management and Marketing Research 7巻 2号 39-56頁 2014

計 268

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の任務に関する事項、委員会の構成に関する事項、委員会の調査及び審議の対象に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、疑義申立てに関する事項、再審査手続に関する事項、病院長への報告義務に関する事項、申請者・病院長への勧告等に関する事項、委員会の事務に関する事項、委員会の記録の保存に関する事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織および組織運営に関する事項	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 14 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 平成26年度に、「臨床研究と利益相反 (COI)」に関する講習会 (平成26年9月実施) 及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (案)」に関する講習会 (平成26年10月実施) を実施 (計2回)。	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科（部）に所属し、大学病院（医員など）及び関連病院を循環しながら修練を行い、それぞれの学会等の専門医、あるいは認定医の資格の取得を目指すコースである。内科プログラム（所属する臓器別内科（診療科）の他の内科系診療科でも修練を行う等複数の診療科が協力連携して実施するプログラム）や総合診療を専門とする医師となるプログラムも可能となっている。
診療技術の習得だけでなく、臨床研究も行うことが可能である。

2 研修の実績

研修医の人数	157人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
金子 周一	消化器内科	科長	33年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	27年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	28年	
山岸 正和	循環器内科	科長	37年	
和田 隆志	腎臓内科	科長	27年	
笠原 寿郎	呼吸器内科	科長	29年	
中尾 眞二	血液内科	科長	35年	
山田 正仁	神経内科	科長	35年	
三邊 義雄	神経科精神科	科長	37年	
谷内江 昭宏	小児科	科長	36年	
蒲田 敏文	放射線科	科長	22年	
竹原 和彦	皮膚科	科長	36年	
森山 秀樹	内分泌・総合外科	科長	13年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	30年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	24年	
太田 哲生	肝胆膵・移植外科	科長	36年	
井口 雅史	乳腺科	科長	20年	
伏田 幸夫	胃腸外科	科長	29年	
土屋 弘行	整形外科	科長	32年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	28年	
杉山 和久	眼科	科長	31年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	29年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	32年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	24年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	21年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	29年	
山下 太郎	総合診療内科	副科長	20年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション部	部長	23年	
後藤 由和	救急部	部長	31年	
谷口 巧	集中治療部	部長	24年	
矢野 聖二	がん高度先進治療センター	部長	25年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

1. 新規採用職員オリエンテーション
新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質の向上と業務能率の増進を図る
2. 薬害被害講演会
薬害被害者や医療被害者の声を直接聞く機会を設け、薬害被害についての知識を深める

・研修の期間・実施回数

1. 平成27年4月1日（水）～3日（金）
2. 平成26年10月22日（水）

・研修の参加人数

1. 123名
2. 135名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

1. コンプライアンスに係る個別事項（個人情報、情報セキュリティ、研究費等の適正な執行）に関する研修会
2. ハラスメント防止研修
3. 接遇研修
4. 安全衛生講習会（院内暴力対策、患者からの暴言・暴力の対応）

・研修の期間・実施回数

1. 平成26年10月9日（木）～10日（金）
2. 平成26年11月4日（火）及び平成27年1月30日（金）
3. 平成27年1月16日（金）及び平成27年1月22日（木）
4. 平成27年2月10日（火）

・研修の参加人数

1. 116名
2. 203名
3. 334名
4. 311名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 並木 幹夫
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器内科長 金子 周一 ・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘 ・循環器内科長 山岸 正和 ・血液内科長 中尾 眞二 ・神経内科長 山田 正仁 ・小児科長 谷内江 昭宏 ・放射線科長 蒲田 敏文 ・皮膚科長 竹原 和彦 ・心臓血管外科長 竹村 博文 ・胃腸外科長 伏田 幸夫 ・内分泌・総合外科長 森山 秀樹 ・整形外科長 土屋 弘行 ・泌尿器科長 溝上 敦 ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一 ・麻酔科蘇生科長 谷口 巧 ・核医学診療科長 絹谷 清剛 ・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎 ・病理診断科長 原田 憲一 ・総務課長 大久保 進 ・医事課長 北村 浩一 ・内分泌・代謝内科長 篁 俊成 ・呼吸器内科長 笠原 寿郎 ・腎臓内科長 和田 隆志 ・総合診療内科長 ・神経科精神科長 三邊 義雄 ・子どものこころの診療科長 棟居 俊夫 ・放射線治療科長 熊野 智康 ・漢方医学科長 小川 恵子 ・呼吸器外科長 松本 勲 ・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生 ・乳腺科長 井口 雅史 ・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹 ・眼科長 杉山 和久 ・産科婦人科長 藤原 浩 ・脳神経外科長 中田 光俊 ・歯科口腔外科長 川尻 秀一 ・救急科長 後藤 由和 ・薬剤部長 崔 吉道 ・経営管理課長 竹中 隆宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課、各診療科、看護部、薬剤部	診療録は、外来は1患者1ファイル、入院は1入院期間1ファイル。(電子診療録は1患者1ファイル。) 診療録の院外持ち出しは禁止されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	経営管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課 医薬保健系事務部	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医事課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
	第十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
	第一項各号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
	及び第九	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	条の二	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医事課、ME機器管理センター、放射線部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医事課、経営管理課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課、経営管理課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	(1) 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 並木 幹夫
閲覧担当者氏名	総務課長 大久保 進
閲覧の求めに応じる場所	会議室
閲覧の手続の概要 諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法 人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示 請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。	

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状に
ついて、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印
を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組む、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 14 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること</p> <p>(3) 安全管理対策のための教育及び研修に関すること</p> <p>(4) 発生した医療事故原因の分析及び改善策等に関すること</p> <p>(5) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>【平成26年度】</p> <p>「医薬品安全管理」6/3 「これだけは知っておきたい検体提出のあれこれ」6/18</p> <p>「安全な輸血のために」10/7 「院内の急変対応はコードブルーからRRSへ」11/26</p> <p>「救命処置」12/15 「人口呼吸器の安全使用」2/2</p> <p>「医薬品安全管理(第2回)」2/9 「患者からの暴言・暴力の対応」2/10</p> <p>「適切なカルテ記載について」3/9</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○事故報告等の分析結果を現場へフィードバック ○医療従事者の医療事故防止に関する教育</p> <p>○事故防止のための基礎知識の提供 ○事故報告書等から必要なマニュアルを作成</p> <p>○インシデントサマリに再発防止策を提案 ○事故防止マニュアルの見直し</p> <p>○GRM等による医療現場のラウンド ○院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布</p> <p>○院外の事故情報の提供による注意喚起</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専任 (2) 名 兼任 (11) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療にかかる安全管理対策及び医療事故対策の企画立案に関すること</p> <p>(2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること</p> <p>(3) 安全管理のための教育及び研修企画及び運営に関すること</p> <p>(4) アクシデント及びインシデント報告の調査及び分析に関すること</p> <p>(5) リスクマネージャーとの連絡調整に関すること</p> <p>(6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認及び指導に関すること</p> <p>(7) 患者家族への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導に関すること</p> <p>(8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること</p> <p>(9) 金沢大学医療安全管理委員会に用いられる資料及び議事録の作成、その他当該委員会の事務に関すること</p> <p>(10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の整備状況	① 有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的な考え方2. 院内感染対策のための委員会に関する基本事項3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること(2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること(3) 院内感染についての教育活動に関すること(4) 院内感染の調査に関すること(5) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること(6) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【平成26年度】 感染対策研修 (講演) 『感染対策と治療「MRSA編」』 『感染対策と治療「多剤耐性菌(緑膿菌・ESBL産生菌)編」』 『感染対策と治療「真菌編」』 『アウトブレイク対策』 『第1回栄養ゼミナール』 『第2回栄養ゼミナール』 『第1回歯科口腔セミナー』 『褥瘡対策チーム講演会』 その他 『新規採用者対象の感染対策研修』</p>	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価・ ICTラウンドによる感染対策実施工動の確認と指導・ 職業感染防止対策のための計画・実施・改善・ 感染管理システムを活用した情報共有・ 感染制御担当者(ICM)による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>【平成26年度】</p> <p>1. 医療安全研修（平成26年6月3日開催） i) 医薬品情報の活用方法－適切な薬物治療を行うために－ ii) 本院の医薬品安全管理</p> <p>2. 医療安全研修（平成27年2月9日開催） i) 医療用麻薬等の医薬品安全管理 ii) 医薬品の取り扱いについて</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 ①・無</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 外来および入院患者への医薬品の処方・交付 5) 病棟・中央診療施設・外来部門における医薬品の管理 6) 外来および入院患者への情報提供および薬学的指導 7) 院内製剤の取り扱い</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 ①・無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 117 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>平成26年度の主な内容として、入院病棟・外来の各診療科を対象に、シリンジポンプの操作方法について74回、人工呼吸器の操作方法について19回の研修を行った。また、病院全体を対象に、医療機器全般について安全管理をテーマとして1回、人工呼吸器の安全管理をテーマとして1回の研修を行った。医療機器の安全使用のための研修については、ME機器管理センターと放射線部が実施計画を策定して行っている。</p> <p>新規購入した医療機器は、その都度、ME機器管理センターの技士が医療機器の安全使用のための研修を使用者を対象に行っている。放射線機器は放射線部が行っている。また、インシデントが発生した場合は、インシデント例をもとに院内で勉強会・研修を行い、周知している。方法はME機器管理センターの技士が院内を巡回し、使用現場で各医療機器ごとに行っている。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 ①・無</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>各機器の保守点検については、医療機器安全管理委員会で点検計画を策定して定期点検を実施している。使用者が使用前点検を行い、使用後に臨床工学技士や放射線技師が終業点検及び機能点検を実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 ①・無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>病院として医療機器安全管理委員会を設置し、医療機器の安全使用のために必要となる情報を収集し、共有のため月一回定例会を開催している。医療機器安全管理委員会は院内全体の組織として医療機器の把握および安全対策を行っている。</p> <p>特定の医療機器に関しては、使用頻度の少ない部署に向けて、随時個別に研修会の開催を行っている。また、個別研修開催の後、理解度を図るため小テストを行い、理解度が低い部分に関してはその後の研修に反映させ、更なる理解を得られるようにしている。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成27年5月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 本院Webサイトにて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム、高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム、悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとして緩和ケアチーム、褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図るため褥瘡対策チームを置いている。	